

松江体協会報

第 8 号

54. 1. 15

題字は斎藤強前会長

松江市スポーツ都市宣言 全市地域体育協会結成 記念号



スポーツ都市宣言文を朗読する中村松江市長 (10.15)



式場に溢れるばかりの各界代表 (10.15) 4頁に記事登載

年頭にあたって

松江体育協会長 中 村 芳 二 郎



あけましておめでとうございます。

協会役員、加盟団体会員のみなさまがたには、ますますご健勝で希望に輝く昭和54年の新春

をお迎えになりましたことと、心からお慶び申し上げます。

顧みますと昨年成人の日に恒例の体協人新年賀会の折り、私をご参会の300名のみなさまがたのご推挙により、伝統ある松江体協会長に就任してごあいさつを申し述べました。

そして賀会で決議されました“市民総スポーツ底辺の拡大”と“57年島根国体準備体制の推進”を大きな柱として、53年松江市スポーツ界の重要課題解決に取り組むことになったのでございます。

市民総スポーツ底辺の拡大の推進につきましては、3月10日、市並びに市議会に対し、スポーツ都市宣言をしていただくよう文書を提出、陳情を行いました。さらに世論の喚起と基盤づくりのため前年に続いて全市地域体協結成に力を注ぎました結果、8月に至って念願がかない20公民館全地区に体協づくりが完結いたしました。

これらの情勢をふまえて市当局でも検討がすすめられ、10月には待望の松江市スポーツ都市宣言が行われました。また年度がわりの4月1日に市国体課が誕生、さらに4月10日には島根国体松江市準備委員会の発足をみましたことは、私どもが要望してきたことに対する市の姿勢が示されたものとして共感を覚えるものであります。

これと前後して県が公募していた島根国体のテーマとスローガンが3月15日に決定。5月には中央各競技団体から国体の受入体制の視察を経て7月5日、日本体協において57年島根国体の開催を内定されたのであります。これをうけて県の準備委員会も実行委員会に移行、国体準備局も国体局と改まり、選手強化対策本部の発足、国体シンボルマークの決定と、県・市にとってもめまぐるしい昨年でありました。

このようにして本年7月にはいよいよ57年島根国体開催決定の指令がもたらされることとなります。

市体協にとりましては、大正13年の体協創立以来旗じるしにしてきた“普ねく、絶えず、正しく”のスローガンに忠実に、幅広い市民スポーツの振興はゆるがせにできないのは勿論のことですが、3年後に迫る国体の松江市開催6種目にどう対処していくか重大な関心を払わずにはいられません。

県、市の実行委員会も今年は専門部ごとに具体的な活動に入っていくことでは、急がねばならない問題が山積しているとき県と市の連携、あるいは行政側と民間側との協力体制などが入りくむ中で、今後の松江市体協の役割が重要になってくるものと推察されます。

国体開催の大事業を完遂するためにも、またこれをステップとして将来の大松江市建設のためにも、スポーツ都市宣言の効果がエネルギー源として大きく役立つことを確信してやみません。

年頭にあたり所懐の一端を述べてご挨拶といたします。

市民総スポーツと島根国体をめざして

松江市教育委員会体育課長 永 江 健 悦
松江体育協会事務局長

新たまの年を迎えお目出度うございます。
54年躍進の年の始めに皆様方もスポーツ振興に
対するあらたな意欲を燃やしておられること、思
います。

市体育協会も昨年は新種目カヌー（会長吉村一
夫）の加入により加盟団体は39種目に達し、又
地域体育協会組織も20地区全域に完了し今後の
充実がまたれるところであります。

昭和46年の賀会に宣言決議された“市民総体
育”の具頭に、このようにして一步一步着実に前
進を続けてまいったことで、昨年は念願の“スポ
ーツ都市宣言”がついに実現できましたことは、
これ偏に、皆様方のたゆまぬご努力と熱意のお蔭
と心から敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昭和57年島根国体も愈々7月には中央から正
式開催決定がなされます。松江市におきましては、
夏季の水泳、秋季の開会式をはじめ陸上、柔道、
バスケット、庭球、ライフル射撃の運営を受持つ
こととなります。昨年春、中央競技団体から視察
に来松されました際には施設をはじめ数多くの遅
れに対し指摘を受けております。行政の立場から
見て、県・市が真剣に取り組まなければならない
のは勿論のことですが市体協としましても、
競技会の運営・選手強化については深い関心を払
わずにはおられません。

私も54年の新春をむかえ、ひしひしと国体の

息吹きを感じると共にスポーツ宣言の実践をめざ
して邁進する所存であります。

昭和54年度の教育委員会体育課所管の施策と
いたしましては、

◎市民総体育の推進と体育施設の整備充実

- ・スポーツ都市宣言事業の推進
- ・市民体育祭の充実
- ・松江体育協会の充実と地域体育協会の組織強
化
- ・社会体育施設の整備・充実
- ・島根国体への市民意識の高揚

◎学校保健・体育の振興充実

- ・児童・生徒の体力づくりの推進
- ・指導者の指導力向上
- ・学校体育団体の充実・強化と部活動の振
興
- ・島根国体該当年令（中学生）の選手育成・強
化
- ・学校体育施設・備品の整備
- ・学校保健の推進

を図りたいと考えております。

困難なことも多かろうと思われませんが、皆さん
の献身的なご努力にこたえるべく、勇断をもって
対処する所存です。この上ともに暖かいご指導、
ご鞭撻をお願いいたします。

体力づくりで活力ある町に

市民総スポーツ都市宣言

発表並びに表彰式

松江市は10月15日、スポーツ都市宣言の式典を挙行了。最初の計画では10月10日(体育の日)を選び、市民体育祭の開会式に併せ行う手筈がきめられていた。ところが雨で大会は15日に延期されたものの残念なことに再度の雨で市民体育祭は中止。そこで都市宣言の式典だけが切り離して行われたのだった。

式場には市庁舎常任委員会室が充てられたが狭いため、やむなく人員を制限されたにもかかわらず、雨について参列した市議員、体協関係者等は150名に達し廊下にはみだすありさま。

午前10時、永江体育課長が開会を告げ、内田教育長が経過報告の中で、松江体協は、かねてから市民総スポーツを真剣に考え、これに取り組んできたが、これを実現するためには行政の立場から市がスポーツ都市宣言を行うべきだと提言する一方、世論の喚起と基盤づくりのため地域体協の組織づくりを呼びかけるなどの推進活動を続けてきた。そして愈々機が熟し53年3月10日、会長名文書をもって市長、市議会、市教育長のそれぞれに要請の陳情を行った。一方市教委でも、これに対応すべく先進地の調査を行い参考資料をもとに、宣言文案、活動方針、宣言の時期など諸々の検討をすすめていた。

この時、市議会も6月議会で陳情を採択したことにより大きく前進、市の法令審査会の審議を経て宣言

の位置づけもきまり、愈々日の目を見ることになった云々と経過を述べ、続いて中村市長が登壇、松江市は、かねてからスポーツを奨励し健康で明るい町づくりに努めてきたが、57年島根国体の成功と山陰の雄都として限りなき発展をねがう上から、市是として市民総スポーツに取り組んでいくため、スポーツ都市宣言するとの固い決意を披瀝しての挨拶の後、力強く、スポーツ都市宣言文を朗読、参



(地域体育功労者代表謝辞)

会者からの盛んな拍手は、しばし鳴りもやまなかった。

こうして、画期的な宣言が終るとこの日を記念するにふさわしい表彰が行なわれた13回に亘る毎年の市民体育祭をはじめ各種の市行事に参加協力してきた島根県警察音楽隊と全市20地域体育協会の創立並びに育成につくしてきた20名の功労者に対し市長から表彰状と受彰楯が贈られ、平垣貞徳氏(大庭)が表彰者を代表して謝辞を述べた。

次いで市民体育祭の表彰規定が本年度から改正されたことに基く第一部球技(卓球・バレー・ソフト)の総合成績による大規模・小規模別の表彰が行われた。

大規模①津田 ②乃木 ③法吉 小規模①城北 ②白潟 ③持田

更に特別表彰として前回までの混成継走に持ち廻り授与されてきた、佐野広氏寄贈の優勝旗は50～52の3年連続優勝の大庭に永久授与された。

表彰を終り、来賓を代表して小立市議会議長の祝辞があり地域体協連合会角会長の音頭で万才の三唱を最後に、記念すべきスポーツ都市宣言並びに表彰式は終了した。



(市民体育祭第1部1位・津田表彰)

松江市スポーツ都市宣言記念
(地域体育功勞)受彰者

忌部	糸川	彰	体協	会	長
大庭	平垣	貞徳	元	会	長
竹矢	杉村	和雄	会	長	長
津田	石倉	勇一	副	会	長
乃木	吉田	英好	元	会	長
松南	神田	繁吉	副	会	長
白潟	荻野	義孝	理	事	長
朝日	井後	豊	理	事	長
城東	野津	佐千徳	会	理	事
城西	梅谷	進	理	事	長
城北	小谷	豊	理	事	長
法吉	中村	栄	会	長	問
本庄	松本	昭郎	元	会	長
朝酌	川上	八郎	元	任	理
持田	片寄	禮福	常	副	会
川津	小山	昭明	副	会	長
生馬	福井	明彦	会	務	局
古江	門脇	敏久	事	務	局
秋鹿	樋原	久	会	務	局
大野	清水	灌三郎	前	会	長

スポーツ都市宣言

私たち松江市民は、スポーツを愛し、
スポーツをとおして健康な心とからだを
つくり、明るく豊かな松江市をきずくた
め、ここにスポーツ都市宣言します。

1. 私たちは、毎日の生活にスポーツをとり入れます。
1. 私たちは、スポーツをとおしてしあわせな家庭と明るいまちをつくります。
1. 私たちは、スポーツをとおして活力のある豊かな松江をつくります。

昭和53年10月10日

松江市

昭和41年、体育の日の法制化に伴い、第1回の10月10日発足した松江市民体育祭であるが、既に13回にもなるので、一層の充実をはかるため専門委員会を設け検討の上、53年から競技方法並びに表彰規定の一部を改正。

20地域体協の中で世帯数の多い方の10地域をA少い地域をBとし、A B別に競技を行うこととした。又、球技と陸上の総合得点順位による表彰も第1部(球技)第2部(陸上)を別々に得点表彰することとし、この第1部の総合成績による表彰は秋の陸上大会当日行うこととした。

←10日も15日も陸上が雨で中止のため、スポーツ都市宣言発表の式場で第1部の表彰が行われ、写真はBグループ表彰を受けた白潟体協。



スポーツ都市宣言の発表並びに表彰式の最後を締めくくる万才三唱。音頭をとるのは松江市地域体育協会連合会の角会長。
(10・15 市役所常任委員会室)



スポーツ都市宣言の実践計画

松江体協で推進地域体協を指定

松江市ではスポーツ都市を宣言したことで、今後これを市民運動として強力に推進しようとしている。

市民が、この宣言の持つ意義をよく理解し、ただ単に歌い文句にとどまらず老若男女、みんながスポーツを愛し、そして実践して健康で明るい家庭や町を築くようにつとめることを望んでいる。

このためには、松江体協としても地域住民と身近な関係にある地域体協の果たすべき役割が極めて大きいと考えるので市民運動の一翼を担う意味で、実践計画推進地域体協を指定し、その成果をモデルにして、漸次他地域にも及ぼし全市に浸透をはかっていくことをきめた。

今回指定したのは次の4地域である。

橋南…(中心部)朝日体協…(周辺部)大庭体協

橋北…(中心部)城東体協…(周辺部)持田体協

指定期間は

53年度と54年度の2年間継続

助成金は

1地区年15,000円×2年=30,000円

提出書類

第1次報告 内容 1.実践計画主題

(ノ切・53・2.実践計画の概要

12・10) 3.本事業担当主任・委員

第2次報告 第1次実践報告のまとめ

(ノ切・54・3・20)

第3次報告 第2次実践計画の概要

(ノ切 54・4・30)

第4次報告 実践活動のまとめ

(ノ切 55・1・31)



松江体協では、市のスポーツ都市宣言と地域体協結成の画期的事業を記念してメダルを製作(径9糎、銀いぶし、楕型飾ケース入)を希望者

120名に頒布した。

文字のない方が表。

大庭体育協会

1. 主題「みんなでスポーツの輪を広げよう」

大庭地区は都市近郊の新興住宅地として急激に発展し、多様化する生活環境の中で地区の進展を図るには、新旧住民相互のスポーツによる親睦によらなければならないと考え、昭和52年2月に「体育の町おゝば」を宣言し、豊かな町づくりの一助として来たが、ここに松江市スポーツ宣言実践推進指定体協として「みんなでスポーツの輪を広げよう」を主題として次の通り実践計画を樹立する。

2. 基本方針

- (1) 松江市スポーツ都市宣言の啓蒙活動の展開
- (2) 各町内毎のスポーツ行事の推進
- (3) 各種スポーツ大会の開催
- (4) 各種スポーツクラブの結成促進
- (5) 体協の組織強化



3. 第一次実践計画

- | | | |
|--------|--------|-----------------------|
| 6・8 | 9地区参加 | 第6回町民学童野球大会 |
| 7・30 | 34名参加 | 第3回町民お早ようマラソン大会 |
| 8・6 | 10地区参加 | 第31回町民野球大会 |
| 8・6 | " | 第12回町民バレー大会 |
| 8・20 | " | 第13回町民ソフトボール大会 |
| 8・20 | 8地区参加 | 町民庭球大会 |
| 9・17 | 11地区参加 | 第22回町民体育祭 |
| 11・12 | 6地区参加 | 第2回大庭地内一周駅伝大会 |
| 12・~2・ | 毎土曜 | 大庭卓球部 町民卓球教室 |
| 1・21 | 100名 | 歩け歩け運動 |
| 2・18 | 11地区参加 | 第13回町民卓球大会 |
| 毎月、水曜 | | 大庭スポ少剣道部 少年剣道教室 |
| 毎木曜 | | おゝばコミニテイクラブ ママさんバレー教室 |

城東体育協会

- 主 題「スポーツに親しむ町づくり」
城東体協は、城東地区町民のスポーツに対する理解と関心を高め、スポーツの振興を通して健康で明るく、豊かな町づくりの一助となすべく、ここに松江市スポーツ都市宣言実践推進指定体協として「スポーツに親しむ町づくり」を主題として次の通り実践計画を樹立する。
- 基本方針
 - 体協の組織強化とスポーツ振興、特に松江市スポーツ都市宣言の啓蒙活動の展開
 - 広報活動の展開
 - 各種スポーツ教室の開催
 - 各種スポーツ大会の開催
 - 各種スポーツクラブ結成促進
 - 各町内毎スポーツ行事の促進
 - その他主題達成に必要なこと
- 第1次実践計画(昭53.11～昭54.3)
 - 11・24 体協役員各種団体 スポーツ振興協議会
 - 12・9 講師体育指導委員 町民ゲートボール教室
 - 12・～2・毎日曜午後 講師体協卓球部員 町民卓球教室
 - 12・25～1・6 講師体協卓球部員 子ども卓球教室
 - 1・7 講師体協卓球部員 子ども卓球大会
 - 2・9～10・ 講師体協庭球部員 町民庭球教室
 - 2・18 町民卓球大会
- 第2回スポーツ振興協議会
毎火曜・金曜・夜 講師体協バレー部員 町民バレーボール教室
毎日曜 講師藤原重雄他 少年剣道教室

持田体育協会

- 実践計画主題 「健康で明るい町づくり」
地区住民の体位の向上と健康を増進するため、スポーツ都市宣言の内容とその意義を周知徹底させ、生活の中にスポーツ活動を取り入れ心身ともに健全で明るい町づくりをめざす。
- 実践計画の概要
 - 既定計画の完全実施 事業計画書別紙
 - 今後の実施計画
 - ママさんバレーチームの育成
公民館、小学校PTAと話し合い年度内結成をめざす。
 - 体力テストの導入
年度内に実施する
 - オリエンテーリングの実施
明年度実施をめざし指導者の養成その他の準備態勢を整える。
 - 支部の活動組織を確立する
支部の実情に即した活動組織を確立し、地区住民の活発な活動の展開を図る。
 - 会報の発行
年2回(5月・11月)の発行をめざし、会報を通しスポーツ都市宣言のもつ意義の理解を図り併せて本会活動の状況を地区民に知らせる。
 - 顕彰制度の確立
本会の活動に貢献した個人・団体の顕彰制度を年度内に発足させ本会発足5年目に

当る54年度町民体育大会の席上表彰する。

- 本事業担当者及び委員
 - 正副会長、総務部員、公民館体育部長、体育係を交えた委員組織をつくる。
 - 主任者 総務部長 佐々木広
部員 上野文夫、細田幹夫、佐々木優子
- 昭和53年度持田体育協会事業計画

陸上部	9・3～9・10雨 町民大会 10・10 市民体育祭参加 11・3 市駅伝大会参加 11・19 町対抗駅伝大会
野球部	7・16～7・23 町対抗野球大会 対外試合 市少年学童野球大会参加
ソフトボール部	7・16～7・23雨 市ソフトボール大会参加 6・25 高ブロック大会 6・11 町対抗大会
バレーボール部	7・2 市バレー大会参加 6・25 高ブロック大会 6・18 町対抗大会 未 県大会予選 未 市少年少女学童バレー大会
卓球部	未 市卓球大会 2・中旬 町対抗大会
相撲部	8・20 町対抗相撲大会 高ブロック少年大会
水泳部	7・中旬 水泳教室
庭球部	9・15 市庭球大会参加
レクリエーション部	10・29 北山縦走 8・13～8・15 盆踊大会
バトミントン部	

昭和53年度持田体育協会予算

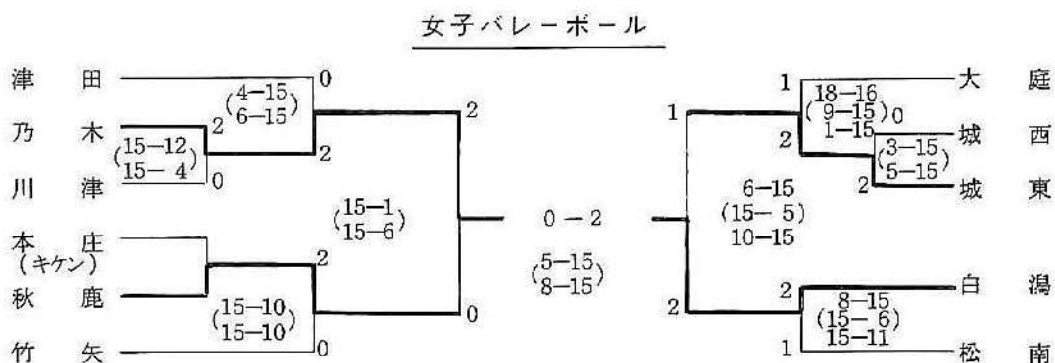
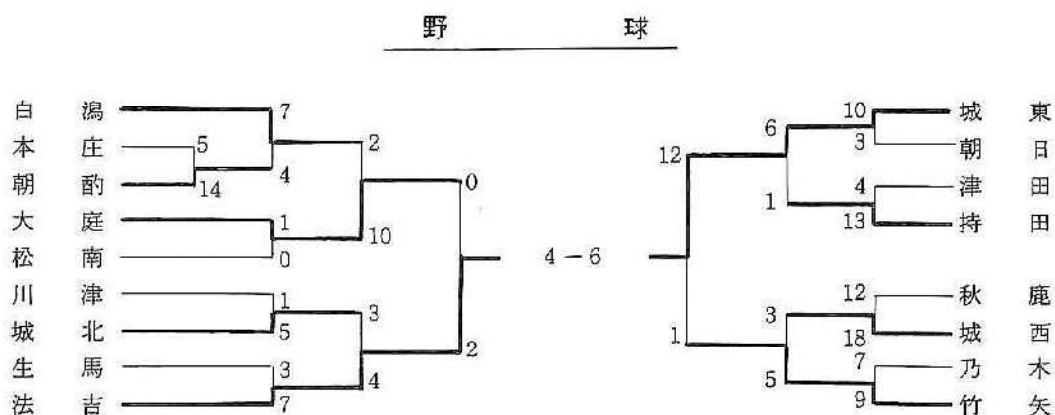
1. 収入の部

項 目	予算額	備 考
会 費	212,000	400×530戸
寄附金総収入	20,000	市助成金、利息
前年度繰越金	8,428	
合 計	240,428	

2. 支出の部

項 目	予算額	備 考
会 議 費	15,000	総会費、役員会費
通 信 費	2,000	
備 品 費	72,000	卓球台25,000、カンナツ旗3,000、得点板18,000、ストップウォッチ26,000
消 耗 品 費	5,000	用紙、印刷代
雑 費	5,000	市体協負担金、その他
小 計	99,000	
陸 上 部	9,000	町民大会、駅伝大会費
野 球 部	34,100	会場費、ボール代、他
ソフトボール部	7,000	大会費、ボール代
バレーボール部	9,000	ボール代
卓 球 部	3,000	〃
相 撲 部	40,000	大会費
水 泳 部	5,000	講習会費
庭 球 部	20,000	ネット、金具代
レクリエーション部	3,000	
小 計	130,100	
予 備 費	11,328	
合 計	240,428	

松江市民体育祭学童の部成績一覧表



第13回松江市民体育祭第1部成績一覧表

	卓球	男子バレーボール	女子バレーボール	ソフトボール	合計点	順位
大庭	24	10	12	10	56	4
松南	19	12	10	15	56	5
川津	15	15	12	10	52	8
津田	15	19	15	24	73	1
竹矢	12	15	10	19	56	5
朝日	12	10	12	12	46	10
城西	11	12	15	12	50	9
城東	11	12	19	12	54	7
乃木	10	24	12	15	61	2
法吉	10	12	24	12	58	3

	卓球	男子バレーボール	女子バレーボール	ソフトボール	合計点	順位
城北	24	10	12	24	70	1
生馬	19	10	12	12	53	6
白湯	15	19	12	19	65	2
朝酌	15	15	12	15	57	5
秋鹿	12	15	10	10	47	9
本庄	12	12	10	12	46	10
大野	11	12	15	12	50	8
忌部	11	12	19	10	52	7
古江	10	12	24	12	58	4
持田	10	24	15	15	64	3

男 女 卓 球

◎子選リーグ

Aゾーン

	城西	川津	大庭	竹矢	乃木	勝敗	順位
城西		1-8	3-6	3-6	⑥-3	1-3	4
川津	⑧-1		4-5	⑤-4	⑤-3	3-1	2
大庭	⑥-3	⑤-4		4-5	⑦-2	3-1	1
竹矢	⑥-3	4-5	⑤-4		4-5	2-2	3
乃木	3-6	3-6	2-7	⑤-4		1-3	5

Aゾーン

	白潟	秋鹿	大野	朝酌	古江	勝敗	順位
白潟		4-5	⑥-3	⑤-4	⑥-3	3-1	1
秋鹿	⑤-4		⑤-4	3-6	4-5	2-2	3
大野	3-6	4-5		2-7	⑤-4	1-3	4
朝酌	4-5	⑥-3	⑦-2		⑥-3	3-1	2
古江	3-6	⑤-4	4-5	3-6		1-3	5

Bゾーン

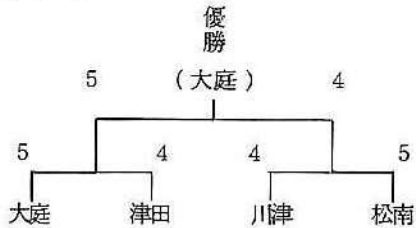
	城東	松南	法吉	津田	朝日	勝敗	順位
城東		2-7	⑤-4	1-8	4-5	1-3	4
松南	⑦-2		⑦-2	⑤-4	⑦-2	4-0	1
法吉	4-5	2-7		1-8	3-6	0-4	5
津田	⑧-1	4-5	⑧-1		⑥-1	3-1	2
朝日	⑤-4	2-7	⑥-3	3-6		2-2	3

Bゾーン

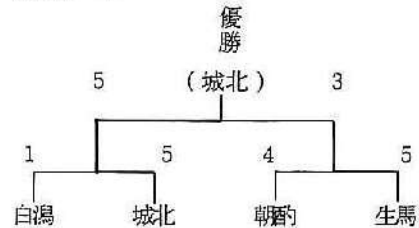
	生馬	本庄	持田	城北	忌部	勝敗	順位
生馬		⑦-2	⑥-3	⑦-2	⑤-3	4-0	1
本庄	2-7		⑤-4	3-6	⑤-4	2-2	3
持田	3-6	4-5		1-8	4-5	0-4	5
城北	2-7	⑥-3	⑧-1		⑧-1	3-1	2
忌部	3-6	4-5	⑤-4	1-8		1-3	4

◎決勝トーナメント

Aグループ

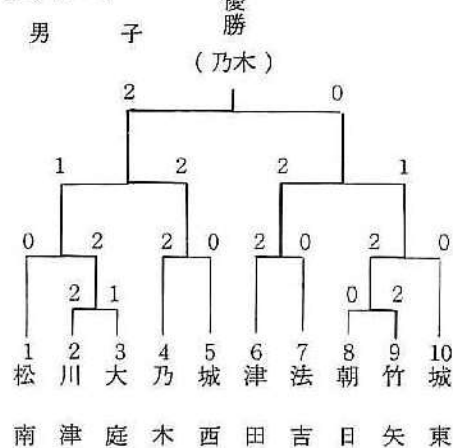


Bグループ

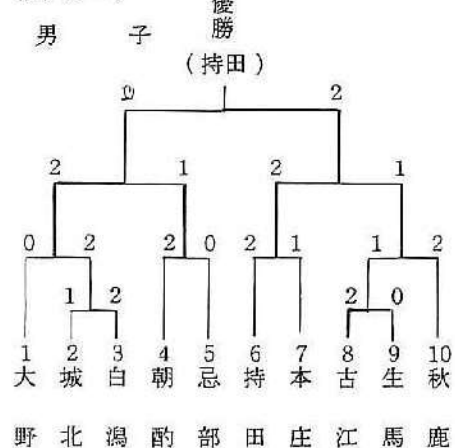


男 女 バ レ ー ボ ー ル

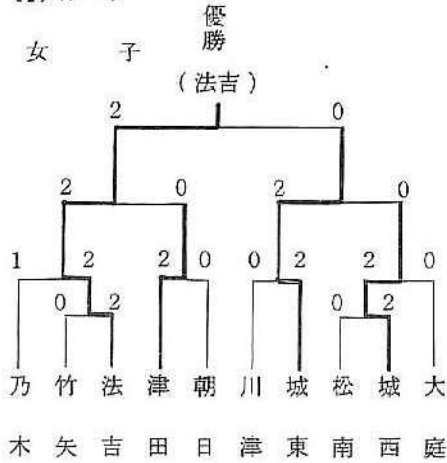
Aグループ



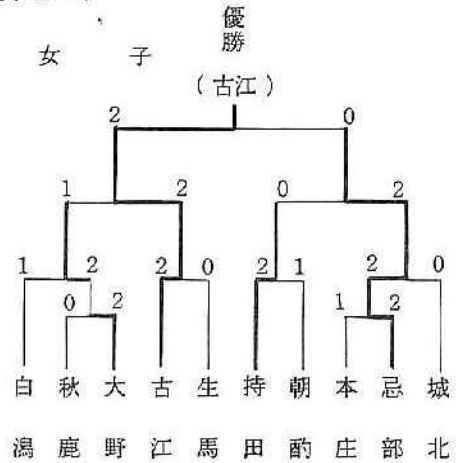
Bグループ



Aグループ

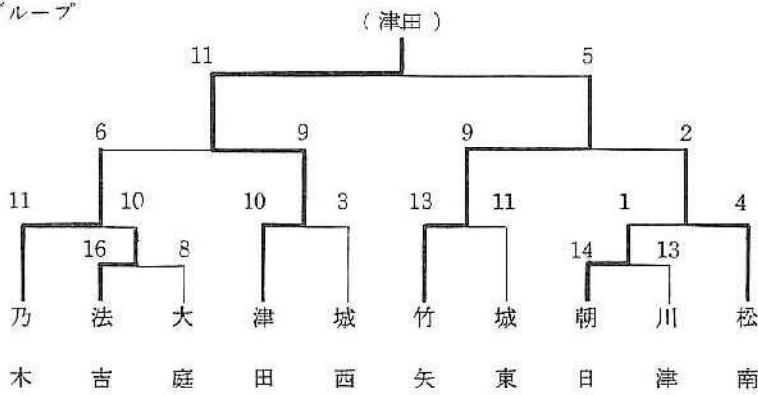


Bグループ



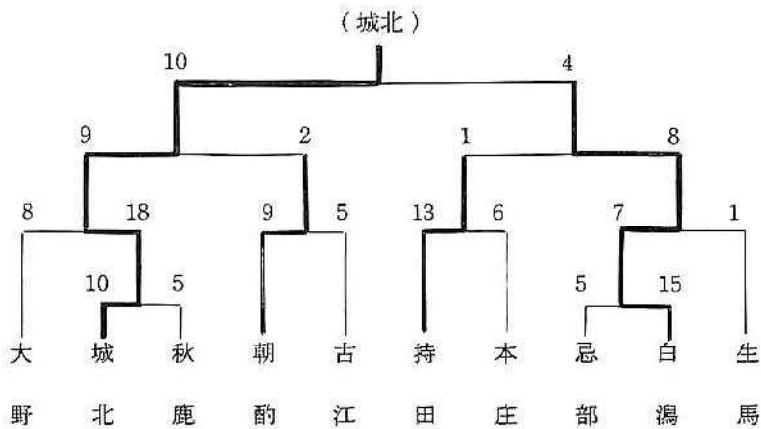
ソフトボール大会

Aグループ



- 1位 津田
- 2位 竹矢
- 3位 乃木

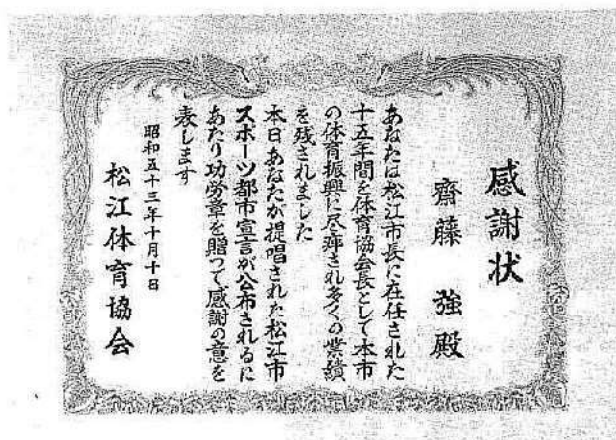
Bグループ



- 1位 城北
- 2位 白濁
- 3位 朝酌

彰 表

(事務局日より、十九
頁十月九日記事登載)



昭和52年度の功績に対し岸記念賞授与

- ① 松江市卓球連盟推薦(会長 鐘築 孝男)
和田 恭明 松江市雑賀町593 S19.4.3生 自営業 松江市卓球連盟事務局長
第12回市長杯第3位、中国選手権、全山陰、市選手権優勝、県選手権第3位又
国民体育大会中国地区予選には一般男子チーム監督として活躍(同チームは全勝優勝
で青森国体へ出場)国体へも出場
- ② 松江バレーボール協会推薦
吉野 晴雄 松江市大庭町79 S11.3.24生 大庭郵便局勤務 松江バレーボ
ール協会会長
松江バレーボール協会再建の功労者であり地域のスポーツにおけるコミュニティづく
りに貢献、家庭婦人バレーボールの育ての親、県PTAバレーボール大会優勝、日韓
親善バレーによる友好の和を拡大する。
- ③ 松江市バスケットボール協会推薦(会長 須田豊三郎)
坂本 和正 平田市灘分857 S16.3.9生 松江一中教員
松江市バスケットボール協会常務理事 松江一中チームを指導
全国中学校選手権大会(第7回)女子第3位 中国五県中学校大会男女優勝
県中学校総合体育大会男女優勝
バスケットボール技術指導の功績は顕著である
- ④ 松江市中学校体育連盟推薦(会長 舟木 貞美)
松江一中女子バスケットボール部 外中原町46 一中内
県中学校総体優勝 中国五県中学校大会優勝
全国中学校選手権大会第3位
- ⑥ 松江地区射撃協会推薦(会長 桑原 和義)
小林 文雄 松江市黒田町138 T9.12.7生 農業 松江地区射撃協会顧問
昭和34年本会結成以来副会長として又43年より49年まで会長として、現在顧問
であるが、此の間選手としても必ず出場し、上位入賞はできなかったが、射撃人口の
増加と県内優秀選手を育てた功績は顕著である。

津田・吉岡・森山三先輩

オリンピック偉勳の品

郷土松江市に寄託



左から森山時雄氏、吉岡隆徳氏、中村松江市長（5月6日市長室）

郷土の先輩、津田晴一郎（松江中学出身、在東京都）吉岡隆徳（島根師範出身、在東京都）森山時雄（旧姓福田大社中学出身、在松江市）三氏に松江体協から懇請していたオリンピック出場などの記念品が五月六日市に寄託された。この日、吉岡、森山両氏は市役所に中村市長を尋ね偉勳を物語る数々の品を手渡した。（津田氏は郵送）、市ではこれを城山興雲閣の郷土館に保管展示している。松江体協では既に収蔵している岸清一、上田精一、上迫忠夫、橋本源市氏等の品々と共に五十七年国体で全国から来松のスポーツマンに披露する計画をすすめている。

津田晴一郎 昭三年九回アムステルダムオリンピックマラソン六位入賞、山田選手と先頭を走る写真。昭七年十回ロスアンゼルスオリンピックマラソン五位入賞ユニフォームと超人スルミとの写真。吉岡隆徳 昭三年日仏対抗（大連）二百米優勝杯ユニフォーム。昭七年ロスアンゼルスオリンピック一〇〇米六位入賞殊勲盃勲功牌昭十年一〇〇米十秒三の世界対記録連続三回（京城・神宮・甲子園）栄光のスパイク。十一年ベルリンオリンピックにも出場。福田時雄昭十一年ベルリンオリンピック四〇〇米障碍ユニフォーム正と副。日米対抗交換したムアー選手ユニフォーム。

（写真は山陰中央新報提供）



← 松江市は57年島根国体に対する市民総ぐるみ体制がための推進するため3月7日婦人会館に於て、佐藤市助役を中心に準備委員会結成発企人会を開催。4月1日市企画室部局に国体課を新設。4月10日青年センターに於て島根国体松江市準備委員会設立総会を開き全市各界代表を網羅した委員会を発足させ中村市長が会長に就任した。5月には中央競技団体から松江市開催の6種目別に調査団の来松をみるなど動きは一段と活発化してきた。

島根県では3月県議会に於て57年国体開催を決議。中央へ開催申請書を提出。4月に準備局の組織を拡充1局3課28名とし、選手強化対策本部設立、事務局を保健体育課に置き委員48名、常任委員11名、7月5日、日本体協から開催が内定されたので準備局は国体局県実行委員会に移行、テーマ(くにびき国体)スローガン(このふれあいが未来をひらく)と、シンボルマークの公募による決定がなされた。



松江体協・県・国体6種目と合同の協議会を開催

島根国体を3年後に控え、今後松江市の受入準備は、昨年4月に組織された準備委員会機構を中心に推進されることになろうが、松江体協では、準備委員会の具体的活動の先がけとして、松江市開催6種目合同の第1回懇談協議会を開催した。

12月20日午後3時いこいセンターに関係者35名参集。定刻、本会佐藤副会長(市開発公社理事長)より総合運動公園と進入道路工事の見通しなどを説明、体協として県・市競技団体と一体となり、競技役員養成、選手強化に取組んでいきたい、その他の諸問題についても県競技団体と市当局とのパイプ役を果たしたいとの挨拶で開会。

助言者として出席した、橋本県体協専務理事、県国体局の熊谷・小西両氏、県国体選手強化対策本部の宍道氏より夫々、所管業務の中で主として役員養成、選手強化につながる現在までの準備進捗状況と今後の主なスケジュールを説明、これを受けて県6競技団体の理事長、審判部長、選手強化部長から現況報告と要望が述べられた。以下懇談に入ったがその中で明らかにされたことは、競技役員重複など整理し、54年度中に競技別色分けを終り55年からリハーサルが行なわれる際には假委嘱56年所属長と本人の承諾書を取り正式委嘱、補助員、補助役員については市実行委員会に県実行委員会から必要人員枠を示す。施設に伴う用器具は開催地が用意することになる。県実行委員会では目下競技団体からの調査資料を待っており、早急に市に提示する。宿泊、練習会場関係をなるべく早く調整してほしい。選手強化につながる施設、設備を考えてほしい。県選手強化対策本部としては年次計画を立てており、今後コーチ制度上、下一貫した指導体制をすすめていく。リハーサルが各種目毎に計画されている。新年度の教員(指導者や選手)採用など強化対策の見通しは暗い。競技団体は経費不足に悩んでいる。今後会合が多くなるが、駐車場を持つ会議室、安価な合宿所がほしい。その他、沢山の要望や問題もあったが、当日は第1回の会合であり、会を重ねていくこととし、同席された内田教育長、金坂企画室長より夫々の立場で挨拶があり、閉会の挨拶として、桂松江体協理事長より、体協としては本日の話を生かし、市当局とのパイプ役を果たしたい。選手強化、役員養成のため若干の53年度予算を用意したので、中体連の冬季強化練習と6種目別事業について、改めて各競技団体と協議して実施したい。市教委、市長部局としても本日の要望に添うよう今後格別の配慮をお願いすると結び、6時に散会した。

会務報告

事務局だより

1. 15 松江レークガーデン大集会室で1時30分から本会主唱による恒例の松江スポーツ人新年賀会を開催。参加者は本会加盟団体、地域体協、公民館その他幅広いスポーツ愛好者を含めて58団体のかつきり300名で大広間を埋める盛況。正面舞台に掲げた「普く 絶えず 正しく」のローガンを背にして先づ佐藤副会長の開式の辞にはじまりかねて病気のため辞意を表明されていた斎藤強会長（前市長）の後任として、中村芳二郎市長に会長就任をねがうことになった旨の紹介がなされた。これを受けて、中村新会長より年頭の挨拶と会長就任、島根国体をふまえての決意の披露があり、次いで斎藤前会長



からのメッセージを披露。参加者全員前会長に対する感謝決議を行った。続いて前年中に中央筋より表彰を受けられた、堀谷節夫氏（日本水泳連盟より功労章）、金山千氏（日本陸上競技連盟より秩父宮章）、和田正則氏（山陰中央新報社より地域開発賞教育賞）の3氏に対し桂理事長から功績を讃える紹介があり、中村会長からお祝にペナント（陰山幸悦氏デザイン）を贈呈、来賓として福島益太郎市議会副議長と岡田県体協副会長の祝辞があった後、議事にうつり会員から提案された協議議題について次の項目に分けての説明がなされた。

- スポーツの底辺拡大とスポーツ人口の増大をはかり、我々の手でスポーツ都市を現実しよう。
- 57年島根国体を成功させるため、準備体制を推進しよう。

以上の提案説明に対し参加者から賛同の盛んな拍手があり、これを市当局へ要望することになった。

これを受けて中村市長から、いづれも当面の問題として傾聴したので推進打明策を講じたい

との挨拶があり、10月10日体育の日をトして、松江スポーツ都市宣言を行うこと、4月から国体課を発足させ、島根国体松江市準備委員会を広く市民各界層の協力の下に結成し、国体準備を推進したいなどの考えのあることが明かにされた。

議事を終って祝宴にうつり、会員の演芸披露などもあり、参加者一同盃を交してスポーツ談議に花を咲かせたが夕暗の迫る頃、万才を三唱裡にお互今年の健斗を誓い合いながら閉幕解散、なお来会者に当日発行した本会会報第7号（年1回発行）と参加者名簿を配布した。

- 1. 18 斎藤前会長宅へ賀会の状況報告に赴く。
- 1. 19 会長交替の文書を関係方面に発送。会報も各方面に発送。
- 1. 21 市営球場設計説明会が市公園緑地課と野球連盟関係者により開かる。
- 1. 27 県体協新年賀会に会長代理桂理事長出席。
- 1. 28 新競技場建設状況に関係者で現地視察。
- 1. 31 地域体協連合会理事会を青年センターで開き。

(1) 報告 ①本連合会への加盟状況は加盟19（体協12、振興会2、同好会1、公民館体育部4）未加盟1（松南地区）

②松江体協特別会員募集 本連合会は松江体協から52年度10万円の事業補助金を受けており、1万円に対し1.5人の割合で会員を募集することが義務付けられている。

割当15人に対し現在5地区から1人及至3人計10人の加入をいただいている。他地区も協力をお願いする。年間会費1人3,000円内半額の1,500円は連合会に還元されるもので財源にもなるので協力されたい。

③52年度連合会中間決算報告…資料（零）のとおり。質問のあった地域体協結成事業助成金の交付は53年度も新しく結成される地区には交付する。別途市教委より体協結成促進費（結成済の地区も同様扱）1地区1万円づつ20万円交付。更に松江体協からスポーツ教室などの補助金交付を6月16日の連合会理事会で指示してあるが年度末も近づいたので2月20日までに申請のこと、スポーツテスト合格章（賞状）無料交付の用意がある。

(2) 協議

53年度市民体育祭事業について改革委員会の審議内容を荒木体育課長から報告があり大筋で了承。

- 2. 3 県体協より陸上競技講習会の補助金交付を受け陸協へ取りつぐ。
- 2. 4 日本陸連審判委員会副委員長、森田重利氏来松を機に国体準備の話を開く会に参画。
- 2. 6 地域体協連合会理事会議事録作製配布。
- 2. 6 総合体育館・野球場等の使用日程調整会

に参画。

2. 11 全市スポーツ少年団合同の親子スポーツ大会に市スポーツ指導員全員で企画運営に協力。
2. 13 市民体育祭第3部新種目検討会を開き希望とりまとめを加盟団体に通知。
2. 15 市民体育祭第1部抽せん。今年度の開催方針説明。
2. 16 事務局員、野津真理子産休のため、下山真理子を臨時雇傭。
2. 21 陸上講習会終了報告を県体協へ提出。
2. 23 県国体委員会が農共連で開かれ会長代理出席。
3. 1 新年度加盟手続方を各団体に通知。
3. 2 全山陰陸上競技大会開催方針打合せ開く。
3. 7 島根国体松江市準備委員会結成の発企人会が婦人会館で開かれ参画。
スポーツ都市宣言を市議会に陳情することについて市議員に事前諒解を得るため市議員の本会参与会を開く。
3. 10 松江市スポーツ都市宣言の早期実施方を市長・市議会議長・市教育長宛に文書陳情。
3. 12 市民体育祭第1部のトップを切り卓球大会開かる。
3. 13 市バドミントン協会理事長、石原幸雄氏死去。弔電をうつ。
3. 20 市議会総務委員会は本会陳情のスポーツ都市宣言を採択。
3. 24 県体協へ新年度スポーツ教室の子算枠申請。
3. 25 日体協へ52年度スポーツクラブ活動実施精算書送付。
3. 27 市総合体育館運営委員会に参画。
3. 28 県体協へスポーツ教室終了報告書送付。
3. 31 岡 磯吉教育長（副会長）辞任さる。
4. 1 市人事異動により荒木 卓体育課長は広報調査課長に転出。後任に永江健悦氏を迎え本会事務局長も同時に交迭。
4. 5 53年度賞状（共通圖案）1,700枚印刷注文。



共通圖案表彰
バツデと特別
会員に贈った
ネクタイ止



4. 8 体協人件費交付申請を市へ提出。
4. 10 島根国体松江市準備委員会設立総会が青年センターで開かれ、市長を会長とし全市各界の代表を網羅した委員会の発足をみる。
4. 21 日本体協、広報部須山 寛氏取材に来松、松江体協の現況を体協時報5月号に登載全国に紹介されることになった。
4. 24 53年度地域体協連合会第1回理事会を青年センターで開催、4月新任の永江体育課長も挨拶 ①52年4月13日、本連合会が発足して以来の会務を報告

52年度連合会会計報告、収入 151,000 円

支出 117,800 円 53年度へ繰越 33,200 円

②53年度事業並びに予算の審議、今年度は全地域体協の結成促進をはかり、地域スポーツ振興事業の奨励をはかる。市民体育祭については、連合会から送る検討委員と密接な連けいを保ち地域連合としての意向を反映させる。スポーツ人口の増大をはかるため各地域の実情に則した活動を展開する。松江体協の特別会員募集による本会への還元収入財源（半額）獲得に努力する。市体協予算が未だ決定していないが予想の段階での本日の協議であるので正式決定を待つて修正することとして（署）のとおり内定。

◎53年度市行政施策に対する要望

…市民体育祭は、1部、2部の総合得点制を改め1部と2部を分けて得点対抗とする。新らしく世帯数による大規模、小規模に分ける。少年の部をなくす。第3部（得点外）を拡充し5種目を実施するとの市の方針。連合会としては県代表選手級などは市民体育祭に参加を制限するのがのぞましいと考えるので、54年度の改革を目指して今から検討されるよう要望する。体育課と社会教育課相互の予算の使途並びに運用について連けい意志統一をのぞむ。スポーツ都市宣言については連合会も望むところであり、市で方針が決定すれば地域住民へのPRなど大いに協力する。スポーツ教室などに対する市教委、市体協の予算を活用消化する努力しよう。

◎53年度連合会役員については、全員の意向で会長・副会長・代表理事いづれも、留任と決定。

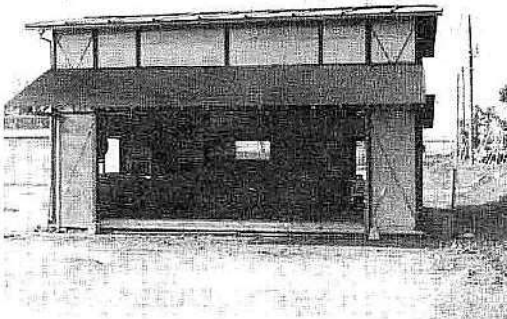
◎情報交換…忌部体協4月20日、松南体協4月12日それぞれ発足。

◎今後の理事会の案内状…公民館を通じて案内したのでは徹底しかねるとの苦情があり今後は理事直接に送ることを了承。

- 4・25 常務理事・水連理事長・梶谷節夫氏の島根スポーツ賞表彰式が山陰中央新報本社で行われる。
- 4・26 地域体協理事会議事録配布。
- 4・27 吉岡隆徳氏の紫綬褒章受彰に祝電をおくる。
- 5・1 産休明け野津事務局員出勤。臨職下山屋と事務引継ぎ。

5・6 吉岡隆徳・森山時雄両氏、市長を訪ね、かねて松江体協から寄託を依頼していた、オリンピックを始めとする、両氏数々の貴重な記念品を、中村市長（体協会長）に手渡さる。なお津田晴一郎氏からの品も届いており、同時に報道記者に発表された。これらの記念品は城山興雲閣の郷土館に保管し、一般に公開されることになった。

- 同日、吉岡・森山氏を囲み、市長以下体協関係者20名が水明荘に集り、昔話に花を咲かせた。
- 5・18 53年度第1回理事会招集状（予告）発送。
- 5・19 市総合体育館南隣りに和弓と洋弓の練習道場完成。



和弓（和弓練習場）

- 5・20 日本体協の体協時報5月号が発行されたので、松江体協の紹介記事部分を抜萃印刷して各方面に配布。
- 5・24 国体バスケットの受入態制について中央競技団体より調査に来松。
- 5・24 本会監事による会計監査を受く。
- 5・25 国体庭球の受入態制について中央競技団体より調査に来松。
- 5・26 53年度第1回理事会招集状発送。
- 5・29 常務理事会を開き、今度の理事会について事前協議。
- 5・31 県国体準備委員会総会開かる。
- 6・2 53年度第1回理事会を総合体育館で開催。中村会長の挨拶があり、52年度事業報告次いで、須田理事（バスケッ）を議長として議事に入

り、決算を承認。53年度予算・事業方針等を審議。役員人事については助役・教育長在職者を副会長に選んできたが、今年度から行政の立場で指導を仰ぐことが好ましいとして、補充しないこととした。松江カヌークラブ（会長吉村一夫）より加盟願が提出されていたが、万場一致、39番目の加盟団体として承認された。

岸記念賞受賞者の選考は、和田恭明（卓球）・吉野晴雄（バレー）・坂本和正（バスケッ）・小林文雄（射撃）・松江1中女子バスケッボール部の受賞が決まった。

松江市総合体育館建築募金と島根県体育協会事業費募金は、今年度中に目標額を達成するよう未納額のある団体は責任をもって積極的に協力することを申合せた。

永江体育課長より市教委の新年度重点施策と関係予算について説明があり、協会としても全面的に協力していくこととした。

佐藤副会長の閉会の挨拶があり、4時30分散会。

当日の議案は52年度事務報告の後、第1号議案 52年度収支決算について、第2号議案 本会役員について、第3号議案 新加盟団体承認について、第4号議案 53年度本会事業方針について、第5号議案 53年度収支予算について、第6号議案 52年度岸記念賞受賞者について、第7号議案 総合体育館並びに県体協募金について。

- 6・5 特別会員募集のための記念品ネクタイ止 570個注文。
 - 6・12 斎藤 強氏の名誉市民顕彰式が総合体育館で開かれ、協会からも参列。
 - 6・13 松江市教育委員会に52年度事業終了報告と53年度事業開始届を提出。
 - 6・19 県体協評議員会開かる。
 - 6・19 総合運動公園サブトラック使用上の留意事項などの打合せ会に参画。
 - 6・21 地域体協理事会を青年センターで開く。
 - (1) 53年度事業並びに予算について協議
 - メダル5個、バッヂ15個づつ各体協に無償交付。
 - 体力テスト合格章を必要枚数だけ無料交付。
 - スポーツ指導員などの指導者養成をはかる。
- 体協の特別会員募集に協力する。毎年度更新とし、年会費3,000円。会員にはネクタイ止が贈呈される。1地区1名（最少限）確保のこと。地域体協へ連合会からの負担金（加盟金など）は負荷しない。

地区体協結成記念事業助成費、地区体協事業育成費は連合会予算会計からはずし、松江体協本部予算から支出される。

- (2) 松江体協との共催事業について
- (イ) 地区体協結成記念事業助成
2万円(1回限り)
- (ロ) 地区体協年間事業費助成
1.5万円(イを除く地区)
- (ハ) スポーツ教室・スポーツ相談室・体力テスト等の開設に対し講師謝金
5,000円(いずれか1回)

- (3) 市教委関係予算による事業
体育課から説明があり、質疑応答。
○市民体育祭参加助成費。○地区体協の名称は振興会でよいから、……よろしい。○市民体育祭検討委員会は、……継続して改革を審議している。○学童の部の地区窓口……地区の事情が異なるので、一応公民館を窓口に参加案内するが、地区体協が受皿になってとりまとめてほしい。○高ブロック親善スポーツ大会は9回を数えるが、主催を公民館から体協へ肩代りさせようという話が持ち上っている。市側の援助をのぞむ、……松江体協共催事業前項(2)の(イ)を適用。共通事業とされることは差支えない。○スポーツ都市宣言と市民皆スポーツについて、……市の補正予算がどうなるか判らないが、PRには秋の地区体育祭のプログラム登載などによる格別の協力をお願いする。

- (4) 地域体協運営上の問題点について情報交換
○16地区体協結成済み。城西6月24日、白湯7月7日、生馬と城北は準備が進みつつあり、8月末までには全地区達成の見込。○事務局は持田が公民館外に在り、事務処理は体協で企画立案されたものを公民館でプリントする。松南は現在体協で一切の事務を処理している。その他は事務局を公民館に置き、事務処理は地区の事情にもよるが、双方連携プレーでやっている。

公民館費と体協予算関連については社会教育課としての立場を、野津社教係長の出席を得て当日指導を受けたが大要次のとおりであったので、十分参考にしてもらいたい。

53年度市民体育祭の第1部の市大会参加は位置付けないが協力はするように言っている。地区大会行事として名目の変わるものは当然認められる。第2部については昨年どおり協力することになっている。

52年度の公民館費の決算を見ると、全事業

費の内55%~35%が体育費になっており、公民館費の範ちゅうを越えているものもあるように思われる。今後、社会教育活動がますます多様化してくることも考慮してほしい。公民館費の使い方については一定の方式を指示したわけではないが、体協育成費として一括払は社教としては支持したくない。形としては、公民館体育部と地域体協が一体となり、公民館との共催行事として公民館費が負担金で体協へ渡され、全体の証憑書類は体協で保管されていいと思う。

資金繰りの関係もあるので、各行事別に支出するか、或は年間計画に基き分割払にされるのか、その辺は双方の話し合いが必要であろう。

地区体協設立は、全市的に足並が揃うのは今少し時間もかかるようだし、未だ過渡期であるので理論通りには行かないと思うので、あれこれとがめだてするつもりはない。

- 6・23 国体庭球コート整備問題で県連から陳情をうく。
- 7・1 全山陰陸上競技大会開催準備事務局開設。吉野安久氏勤務。
- 7・2 市民体育祭第1部バレーボール大会開催。
- 7・16 市民体育祭第1部ソフトボール大会開催。
- 7・17 特別会員ネクタイ止出来上り配布。
- 7・18 全国家庭婦人卓球大会県代表となった松江チーム激励。
- 7・19 市立病院入院中の曾田副会長を協会として見舞う。
- 7・26 地域体協事業用表彰メダル100個、表彰バッヂ300個注文。
- 7・27 市補助金交付申請書提出。



学童野球県大会(8-19・20松江商高)
次頁8.29の記事参照。

- 7. 28 理事会議事録作製。
- 7. 30 地域体協連合会理事会議事録作製。
- 7. 30 全国家庭婦人卓球大会（東京・代々木体育館）に出場の松江チームは、予選リーグ2勝0敗でベスト16のトーナメント戦に進出したが武蔵野市に破れる。
- 8. 9 市民体育祭、学童女子バレーボール大会を総合体育館で開催。
- 8. 13 市民体育祭、第3部水泳大会を開催。
- 8. 17 全山陰陸上競技大会の準備打合会開かる。
- 8. 23 ラジオ体操開始50周年記念全国夏期巡回ラジオ体操松江大会の集いが、総合体育館前で開催され2,000名が参加。



（松南中央大会・8月4日・雑賀小）

- 8. 29 地域体協連合会理事会開催。市民体育祭会場となる総合運動公園サブグラウンドを下見。
会議…20公民館地区体協組織づくりを進めてきたが、8月10日城北の結成を最後に全地域完了をみるに至った。
 本連合会から本年度表彰用メダル5個、バッヂ15個ずつ無料交付した。
 特別会員年会費3,000円を各地区1名以上、募集受付中。市民体育祭の成績により推薦された学童野球4チームは、8月19・20日の松江市での第9回県大会（東部）で16チームに伍して、法吉優勝、城東二位、大庭三位、竹矢惜敗。更に本年から始った東西4チームによる第1回県優勝大会が大田市で開かれ、法吉・城東が参加、東西優勝同士の決勝となったが、6回まで両軍零、最終回の明暗は浜田三3-0法吉。
 協議…市のスポーツ都市宣言について市の方針説明あり、市民体育祭の二部陸上の部については、競技種目の検討で混成リレーの年令別距離を一部修正。市教委からと体協からの助成費。入場行進。応援団席順と飾付。第一部の表彰などについて協議。

地域体協結成完了記念の表彰を行うことについて、各地区1名を選び、体協結成功労者を表彰することとし、出来るならば市から表彰を受けられるよう松江体協から市に働きかけてもらうことで詳細は会長に一任。

- 8. 30 総合体育館運営委員会開かれ、市営球場の夜間照明施設を市に陳情の進言をきめる。
- 8. 30 スポーツ都市宣言の具体化につき市教委と体協で協議。
- 9. 1 地域体協連合会理事会議事録作製。
- 9. 5 県体協へ、スポーツ教室実施計画書を提出。
- 9. 9 県体協へ野球・ヨットのスポーツ教室の謝金交付申請。
 加盟団体宛事務上の諸連絡文書発送
- 9. 11 スポーツ都市宣言に伴い地域体協功労者表彰方を市に申請。承諾さる。
- 9. 14 市民体育祭準備委員会がマリナーで開催。
- 9. 16 市民体育祭の打合会が青年センターで開催。
- 9. 20 常務理事会、理事会を総合体育館で開き協議。

1. 松江市スポーツ都市宣言と関連行事。

体育の日、上乃木の市総合運動公園補助競技場に於て13回市民体育祭を開催、開会式に併せ都市宣言式典を挙行。

宣言文を内示（畧）、朗読は市長が行う。

全市20地区体協づくりが8月をもって達成できたので、各地区1名ずつ計20名の表彰方を市へ具申したところ、市長から表彰状と記念品（楯）が授与されることになった。

炬火リレーは川津元競技場で採火、途中車で開会式場に運ぶ。

参加者全員に記念手拭を贈る。

陸上競技は今年から球技と切り離して単独採点することになった。第1部球技同様、大規模、小規模別対抗とし、表彰は全て二本建となる。

松江体協として招待チームリレーを行う。チームは、市政記者・市議会議員・市部課長地域体協会長（橋南）・同橋北・松江体協OBの6チーム。

斎藤前会長へ、スポーツ都市宣言が日の目をみるのを機会に、感謝の意を表するため10月10日の市民体育祭の前日迄に、電鑄表彰楯を役員代表がお宅へ伺って贈呈する。

2. 地域体協20地区組織づくり達成の報告(畧)。

松江体協から育成費を交付。地区体育祭のプログラムや会場にスポーツ都市宣言の予告PRを依頼する。

3. 国体対策として選手強化対策と役員養成対策を前進させる。
4. 普及活動事業として (1)地域スポーツ育成事業 (2)クラブ育成事業 (3)スポーツ教室、スポーツ相談室、体力テスト等に助成費を交付し活動を助長する。
5. 西川津の競技場、野球場の移転に伴う旧施設関係にまつわる保存顕彰方法の検討をすすめる。
6. 市民体育祭の開会式には例年どおり加盟団体の入場行進参加を勧奨する。
公開演技は10分乃至15分ぐらいのものを企画してもらうよう参加を呼びかける。
9. 22 全山陰陸上競技大会、今日から3日間総合運動公園サブトラックで開く。
大会場に来会の佐野 広氏より、市民体育祭混合継走の優勝楯2個新調寄贈の約束をうける。



(山陰中央新報社提供)

9. 29 体協幹部会を開き諸問題を協議。
10. 1 市民体育祭第3部、軟式庭球大会を工専コートで開催。
10. 3 市民体育祭招待リレー参加について6チームに招請状発送
10. 4 地域体協推薦をまとめ体育功労者20氏の表彰方を市へ進達。
10. 9 斎藤前会長のお宅を尋ね、佐藤副会長から功労章(鑄造版賞状入)楯を贈呈し、多年に亘るご指導に深い感謝の意を表した。
10. 10 市民体育祭は雨のため15日に延期。
10. 15 この日も雨のため今年の市民体育祭第2部陸上は中止としまり、スポーツ都市宣言記念式典のみが市役所常任委員会室で行われた。
10. 19 長野国体、高校軟式野球(公開種目)優勝の浜田高校に祝電をおくる。
10. 20 スポーツ都市宣言と地域体協組織完成を記念し、楯式飾りメダルを製作頒布することをきめ希望をまとめる。
10. 23 県体協指定スポーツ教室5コースを選択。54年度総合体育館(含むプール)、楽山庭球コ

ート、楽山球場、白鷺体育館、市営球場、陸上競技場の使用予定申込とりまめ11月20日迄に申込するよう加盟団体に通知。

10. 25 島根国体準備委員会の競技・式典専門委員会が開催されたのを機会に出席した和田副会長より、①公開のスポーツ芸術展に特別コーナーを設け、郷土出身のスポーツ界の功労者の記念品を陳列されたい、②開会式典炬火リレー等の計画の中に岸博士顕彰の記念事業を取り入れられた、③岸博士銅像の前面道路添いに顕彰文の看板を早急に設置し、国体PR運動に先輩の活躍など紹介、後進の奮起に役立ててもらいたいと意見具申。
10. 31 市民体育祭記念手拭、雨で渡せなかったものを加盟団体に配る。
11. 6 スポーツ都市宣言推進地区として、大庭体協、朝日体協、城東体協、持田体協の4地区を松江体協で指定。今後の推進活動につき打合会を開く。
11. 10 県体協活動募金として松江体協に割当てられた4,505,000円は、分割納入してきたが本日で完納。
11. 15 ~~スポーツ都市宣言記念メダル希望注文がまとまり、江沢記章堂へ発注。~~
11. 25 市民体育祭陸上の部が雨で中止となったことにより、市からの地域体協に対し交付される予定だった助成金(交通費充当分)を準備費に名目がえして交付をうけるよう市と折しよの結果、スポーツ都市宣言記念の意味も含めて地域体協連合会を通じ交付が決定。大会出場の準備費として地域体協が既に費した費用に対し3万円。更にスポーツ都市宣言記念に地域体協旗を夫々調製することとし、補助金として3万円が交付されることになり、この旨、各体協に内翰として伝達。
11. 28 県国体局と当事者を招き島根国体の松江市開催関係のうち、競技会運営、就中、役員養成並びに式典関係について地元体協として初合会を開き意見交換。
12. 4 県国体選手強化対策本部並びに県体協側との島根国体松江市関係の選手強化について地元体協としての初合会を開き意見交換。
12. 11 新年賀会の案内状それぞれ発送。
12. 12 新年賀会の表彰候補者推薦方、加盟団体に通知。
12. 20 松江市開催の国体6種目競技団体との第1回懇談協議会をいこいセンターで開催。6種目県競技団体から、理事長・選手強化・審判役員養成それぞれの担当責任者、市競技団体理事長、一方指導的立場で県国体局・県選手強化対策本部・県体協、それに市側からは市長部局の企画室長・国体課長、教委側から教育長と次長松江体協側からは、佐藤・和田両副会長・桂理事長・永江事務局長・中体連石井理事長等が出席、今後本会として取組まねばならぬ役員養成・選手強化を主題として協議懇談した。(詳細は別稿13頁)

スポーツ都市宣言記念

<健健づくり>……………スポーツ写真
市教委募集の入選作品



金賞 「お二人さんガンパッテー」 一の谷町 木村 俊毅



銀賞 「グループ登山」
雑賀町 363 金山信三郎



銀賞 「早朝散歩」
内中原町 原 隆利

加盟団体行事

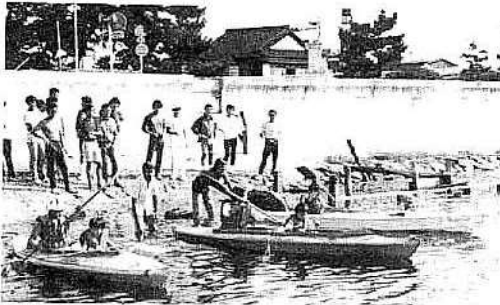
①…主催 ②…共催 ③…主管 ④…参加 ⑤…後援

松江地区サッカー協会 (会長 速藤貞雄)

- 4・15・16 農林高
 ① 松江地区高校春季大会 高校生 200名
- 4・29 一中
 ① 第1回松江地区中学校強化練習会
 中学強化選手 29名
- 4・29 総合体育館
 ① 第1回審判研修会 一般 30名
- 5・14 二中
 ① 第2回松江地区中学校強化練習会
 中学強化選手 29名
- 5・14 ふなつ
 ① 第1回理事顔合わせ会 理事 50名
- 5・6・7 二中
 ① 松江地区中学校春季大会 中学生 150名
- 5・14・21・28 島大高専他
 ① 松江リーグ前期(～7月9日まで) 一般
 350名
- 白潟小
 ① 第4回ミニサッカーリーグ 一般 150名
- 5・21 島大
 ③ 県リーグ第2節 一般 150名
- 5・23・24 一中・附中
 ⑤ 出雲地区中学サッカー選手権 中学生
 400名
- 5・27・28 附小・城北
 ① 松江地区少年サッカー交歓会 小学生
 200名
- 6・4 三中
 ① 第3回松江地区中学強化練習会
 中学強化選手 29名
- 6・4 島大
 ③ 県リーグ第3節 一般 120名
- 6・18 高専
 ③ 県リーグ第4節 一般 150名
- 6・15・16 一中
 ⑤ 松江市中総体(サッカーの部) 中学生
 130名
- 6・17・18 附小
 ③ 全日本少年サッカー松江地区予選 小学生
 150名
- 6・17～24 農林・商業
 ③ 国体松江地区及び出雲地区予選(少年の部)
 高校生 200名
- 6・25 島大・附小
 ③ 全日本少年サッカー一県予選 小学生 120名
- 7・29・30 一中
 ③ 第2回県強化候補選手練習会 中学強化選手
 120名
- 7・30 島大
 ③ 天皇杯県予選 一般 70名
- 8・10 附小・中
 ① 第2回松江総合サッカーカーニバル
 小・中・高・一般 500名
 高専サブゲ
 ① 松江リーグ後期(～12月10日まで)
 一般 350名
- 9・2・3 附小・母衣小
 ① 松江市小学校サッカー大会 小学生 250名
- 9・9・10 サブゲ・商業
 ① 服部正義・小中学生サッカー指導講習会
 小・中学生 350名
- 9・10 附中
 ③ 県リーグ第5節 一般 180名
- 9・22～24 農林・商業
 ① 松江地区高校秋季(兼全国高校県大会予選)
 小学生 480名
- 10・15 湖南
 ① 松江地区中学強化練習会 中学強化選手
 29名
- 10・24・25 湖南
 ⑤ 松江市中学校新人サッカー大会 中学生
 150名
- // 湖南
 ① サッカー一技術・審判研修会 一般 30名
- 10・25 鹿島中
 ⑤ 八東郡小体連サッカー大会 小学生 250名
- 11・3～5 農林
 ③ 全国高校選手権県予選 高校生 250名
- 11・11・12 一中
 ① 松江地区中学校秋季大会 中学生 150名
- 11・11・12 島大
 ⑤ 中国五大学 大学生 150名
- 11・19 農林
 ⑤ 全国高校選手権西中国予選 高校生 60名
- 12・26・27・28 湖南中
 ① 強化候補選手冬季トレーニング
 中学強化選手 29名
- 1・10 しんじこ荘
 ① 理事会 理事 50名
- 2・26 サブゲ
 ① 松江地区中学強化練習会 中学強化選手
 29名
- 3・ 島大
 ⑤ シマネ少年サッカースクール13回生
 小学生 300名

松江カヌークラブ (会長 吉村一夫)

- 5・14 宍道湖・中海
 ⊕ 各クラブ合同カヌー開き及び大根島ツアー
 ① 15人 ② 5人 (ツアー)
- 7・2 瀬田川
 関西ワイルドウォーター大会
 ① 6人 ② 7人 (ワイルドウォーター)
- 7・16 仁摩海岸
 ⊕ シーツアー
 ① 30人 ② 15人 (ツアー)
- 7・29~30 宍道湖
 ⊕ 松江ダングラン祭 タイムレースコンペ
 ① 30人 ② 80人 (タイムコンペ)
- 7・24~27 江の川 (大和会場)
 ⊕ 第1回島根県ジュニアカヌー教室
 ① ② 10人 ③ 11人



- 8・19~22 江の川 (羽須美会場)
 ⊕ 第2回島根県ジュニアカヌー教室
 ① 10人 ② 20人
- 8・20 江の川
 ⊕ 江の川ツアー
 ① 12人 ② 18人 (ツアー)
- 8・25~27 江の川
 ⊕ 第1次島根県カヌー選手強化合宿
 ① 12人 ② 7人 (スラローム・ワイルドウォーター)
- 9・3 江の川
 ⊕ 第1回江の川ワイルドウォーター大会
 ① 20人 ② 10人 (ワイルドウォーター)
- 9・17 宍道湖
 ⊕ 第1回宍道湖一周カヌーカップ (40km)
 ① 20人 ② 10人 (タイムレース)
- 9・20~24 長野
 全日本カヌー選手権大会兼長野国体記念大会
 ① 4人 ② 3人 (スラローム・ワイルドウォーター)
- 10・8 宍道湖
 ⊕ 島根県カヌー選手権大会
 ① 5人 ② 6人 (スラローム)
- 10・15 瀬田川
 関西カヌー・スラローム大会
 ① 3人 ② 3人 (スラローム)
- 11・3~5 青梅市 市役所
 全日本指導員検定
 ① 1人 (検定)

松江市ソフトボール協会 (会長 岩田篤明)

- 53・11・19~11・26 松江商業高校・川津新小学校
 ⊕ 松江市一般男子ソフトボール選手権大会
 ① 165名
- 53・11・26 松江商業高校
 ⊕ 松江市及び東部地区一般女子、高校女子ソフトボール選手権大会 ①・② 52名
- 54・3・10~3・11 青年の家 (予定)
 ⊕ ソフトボール第3種審判講習会及び競技講習 ① 50名 (予定)

松江市オリエンテーリング協会

- 5・28 松江市古曾志町 (会長 玉木常吉)
 ⊕ 第4回松江市オリエンテーリング大会
 参加 820名
- 10・15 松江市津田小学校
 ⊕ 津田小4年親子OL大会 90名
- 10・22 松江市城西地区
 ⊕ 城西OL大会 参加 60名
- 11・5 松江緑山公園
 ⊕ 松江オリエンテーリング大会 330名
- 11・19 津田地区
 ⊕ 津田地区OL大会 参加 280名

松江市軟式庭球連盟 (会長 鈴木繁徳)

- 1・22 市総合体育館
 ⊕ 第2回室内軟式庭球大会 186名
- 4・2 楽山テニスコート
 ⊕ 市民春季軟式庭球大会 270名
- 5・3 楽山テニスコート
 ⊕ 市団体対抗戦 25チーム 150名
- 6・4 楽山テニスコート (雨天中止)
 市中学生軟式庭球大会 278名
- 6・10~
 ⊕ テニス教室 (前期) 30名
- 8・20 楽山テニスコート
 ⊕ 市婦人大会 50名
- 8・27 楽山テニスコート
 ⊕ 市岸杯大会 198名
- 9・23 楽山テニスコート
 ⊕ 第16回全山陰壮年大会 102名
- 10・1 松江高専テニスコート
 市民団体対抗戦 (公民館地域対抗) 11チーム
- 11・3 楽山テニスコート
 市民秋季大会 218名
- 10・7~ 楽山テニスコート
 テニス教室 (後期) 30名

松江市なぎなた連盟

(会長 大野繁子)

- 5-13~14 富山県富山市立体育館
 ◎ 第23回全国なぎなた選手権大会
 ◎ 第19回都道府県対抗なぎなた大会
 8-10~12 出雲市私立出雲女子高・二中
 ◎ なぎなた普及講習会
 8-17~20 兵庫県立スポーツセンター
 ◎ 文部省主催 53年度指導者講習会
 9-3 県立武道館
 ◎ 武道振興大会なぎなた競技会
 11-23 岡山県立武道館
 ◎ 中国五県なぎなた選手権大会
 11-26 出雲女子高
 ◎ 島根県なぎなた選手権大会
 12-10 県立武道館
 ◎ 松江市武道大会なぎなたの部
 12-26~27 県立武道館
 ◎ 松江市なぎなた講習会及選手権大会
 1月中旬 県立武道館
 ◎ 寒稽古

松江陸上競技協会

(会長 金山 千)

- 4-16 宍道湖岸
 ◎ 第33回宍道湖一周駅伝
 34チーム 340名
 4-29 松江陸上競技場
 ◎ 松江市陸上選手権
 一般小・中・高 910名
 6-11 運動公園補助競技場
 ◎ 中国五県対抗陸上 250名
 7-16 運動公園補助競技場
 ◎ 国体県予選 620名
 8-20 運動公園補助競技場
 ◎ 県青年大会 1,000名
 8-20 運動公園補助競技場
 ◎ 松江市高校陸上 300名
 8-27 運動公園補助競技場
 ◎ 県ジュニア陸上 320名
 11-3 市役所~秋鹿~佐太神社~市役所
 ◎ 第24回松江駅伝 34チーム 340名
 11-26 市役所~岡本町~市役所
 ◎ 第7回松江職域駅伝 30チーム
 240名

松江山岳協会

(会長 柿田芳夫)

- 5-21 八重山 大原郡大東町
 ◎ 春の市民ハイキング 一般 51名
 7-15~16 鳥取県大山
 ◎ 登山指導員研修会 協会指導員 13名
 11-5 弥山 簸川郡大社町
 ◎ 秋の市民ハイキング 一般 41名

**松江乗馬連盟**

(会長 野津嘉重)

- 7-7 松江市乃白町神庭馬場
 ◎ 第1回米子松江馬術交歓会
 成年12名 少年10名 少女3名 計25名
 参加馬数 5頭
 8-27 益田市須子町益田馬場
 ◎ 第10回県馬術大会(県民大会兼国体予選)
 成年22名 少年10名 少女11名 計43名
 参加馬数 10頭
 入賞種目及氏名(松江関係)
 第一課目馬場馬術 1位 高倉升恵(北高)
 " 3位 村田久司(島大)
 中学生小障害 1位 長瀬圭史(湖南中)
 " 2位 辺土英治(2中)
 成人中障害 1位 奥野尚志(島大)
 " 2位 西村正二郎(県庁)

松江市小学校体育連盟

(会長 大西 暁)

- 6-14 島大グラウンド
 ◎ 第31回松江市小学校連合体育大会
 小学生 4,000名
 7-28 雑賀小プール
 ◎ 第13回松江市小学校水泳競技大会
 小学生 300名
 9-27-28 島大サッカー場
 ◎ 第12回松江市小学校サッカー大会
 小学生 250名
 9-27-28
 ◎ 第4回松江市小学校バレーボール大会
 小学生 250名
 11-24-25 総合体育館
 ◎ 第29回松江市小学校バスケット大会
 小学生 500名

松江水泳連盟 (会長 吉岡正吉)

- 7・16 松江工業高校プール
第8回出雲地区年令別選手権大会
46チーム
男子318名 女子199名 計517名
県新1 大会新8 高校新1
- 8・13 雑賀小学校プール
第16回松江市民水泳競技大会
22チーム
男子149名 女子101名 計250名
県新1 大会新20 人会タイ1 高校新1
学童新1
- 9・10 雑賀小学校プール
第11回松江市民小・中学校新人水泳競技大会
16チーム
男子134名 女子115名 計249名
大会新40 中学新1

松江市アマチュアボクシング協会

(会長 高階 等)

- 6・ 松江ジム
⊕ 松江・島大ボクシング対抗戦 20名
- 8・ 益田青年センター
⊕ 島根県アマチュアボクシング選手権大会並びに国民体育大会島根県予選 30名
- 9・ 岡山県工業高校
⊕ 第33回国体中国予選 松江協会が県代表で参加 60名
山口県に一勝 準決勝進出するも惜敗
- 3・ 松江ジム
⊕ 島根・鳥取ボクシング対抗戦 40名

松江市ハンドボール協会

(会長 森江文吉)

- 4・23 松江工業高校
⊕ 審判講習会 50名
- 5・28 松江工業高校
⊕ 春季大会 190名
- 9・15・16 松江第1高校
⊕ 県総合選手権 300名
- 10・22 市立女子高校
⊕ 秋季大会 200名



- 11・3・4
松江南、松江農林
⊕ 新人戦 160名
- 1・28
市立体育館
⊕ 室内選手権 200名

松江地区銃剣道連盟 (会長 堀 秀藏)

- 3・5 武道館
⊕ 中国・四国銃剣道選手権大会
団体の部準優勝 20名
- 4・12 浜田
⊕ 護国神社奉納銃剣道大会 5名
- 9・3 武道館
⊕ 島根県武道振興大会 20名
- 10・23 松江
⊕ 護国神社奉納銃剣道大会 21名
- 11・5 武道館
⊕ 松江祭協賛銃剣道大会 25名
- 3・18 武道館(予定)
⊕ 松江地区国体選手強化銃剣道大会 20名

松江ローンテニスクラブ (会長 島田和明)

- 5・14 楽山テニスコート
⊕ 春季松江市民庭球大会 男女合計 42名
5・20~6・24 (各土曜日) 楽山テニスコート
- ⊕ テニス教室 男女合計 45名
- 8・13 楽山テニスコート
⊕ 夏季松江市民庭球大会 男女合計 44名
10・14・11・18 (各土曜日) 楽山テニスコート
- ⊕ テニス教室 男女合計 48名
- 11・23 楽山テニスコート
⊕ 秋季松江市民庭球大会 男女合計 52名

松江スキー協会 (会長 古瀬 章)

- 54・1・28 大山スキー場
松江市民スキー教室 50名
- 54・1・28 大山スキー場
親子スキー教室 50名
- 54・2・18 大山スキー場
松江市民スキー教室 50名
- 54・2・18 大山スキー場
親子スキー教室 50名
- 54・2・25 大山スキー場
第12回松江地区スキー競技大会 120名

松江市体操連盟 (会長 柳原弘義)

- 5・14~2・12 市総合体育館
⊕ 体操教室(年間22回、各150名)
- 8・10~12 市総合体育館
⊕ 親子体操教室(各100名)
- 11・23 市総合体育館
⊕ 松江市民体操デー
(第6回小学生体操競技大会)
(第3回中学生体操競技大会) 計110名
- 1・21~22 市総合体育館
⊕ 審判講習会(2・3種公認審判員資格取得) 予定

松江アーチェリー協会 (会長 金山 千)

- 4・1 松江市 S53年度総会
 4・23 北高
 ㊦ S53年度春季島根県アーチェリー大会兼中国四国アーチェリー大会島根県予選 成年41名
 5・21
 ㊦ 春季松江市アーチェリー大会 成年30名
 5・27~5・28
 ㊦ 昭和53年度第1回公認審判員指導員講習会 成年38名
 7・16 美保関町森山小
 ㊦ 昭和53年度島根県アーチェリー選手権大会兼第33回国体記念アーチェリー競技会島根県予選会 成年50名
 8・27 松江工専
 ㊦ 昭和53年度島根県アーチェリー競技夏季大会兼第8回中国四国アーチェリー選手権大会島根県予選会 成年38名
 9・16~17 松江市
 ㊦ 昭和53年度選手強化アーチェリー合宿練習 成年30名
 9・24
 ㊦ 第8回中国四国アーチェリー選手権大会 成年70名
 10・8 美保関町森山小
 ㊦ 島根県民体育大会アーチェリー競技会 成年45名
 11・3 松江市北高
 ㊦ 昭和53年度秋季松江市アーチェリー大会 成年30名
 11・18~19
 ㊦ 昭和53年度第2回選手強化アーチェリー合宿練習 成年30名
 1・21 美保関町
 ㊦ 島根県インドアアーチェリー大会 成年50名

松江ヨット協会 (会長 浅野俊雄)

- 4・30 浜佐陀
 ㊦ 第2回宍道湖オープンヨットレース 33名
 6・18 米子
 ㊦ 全山陰少年少女ヨット大会
 6・24~25 浜佐陀
 ㊦ 国体県予選 30名
 7・22~23 境港・中海ヨットハーバー
 ㊦ 中海オープンヨットレース 70名
 7・29~30 宍道湖大橋附近
 ㊦ 松江だんだんヨット教室 200名
 9・10~13 長野市諏訪湖
 ㊦ 長野国体 5名
 9・23~24 浜佐陀
 ㊦ 第4回少年少女ヨット教室 8名
 10・8.10 浜佐陀
 ㊦ 全山陰ヨット選手権大会 80名
 11・23~26 江ノ島
 ㊦ 全日本470級選手権 2名

松江市卓球連盟 (会長 鐘築孝男)

- 4・15~16 松江市総合体育館
 ㊦ 第8回鐘築杯争奪卓球大会
 9・23~24 島根大学第2体育館
 ㊦ 第13回松江市長杯争奪卓球大会
 11・4~5 松江市総合体育館
 ㊦ 第24回松江市卓球選手権大会
 2・25 松江市総合体育館
 ㊦ 冬季市民レクリエーション卓球大会
 3・4 松江市総合体育館
 ㊦ 第7回小学生卓球大会



松江弓友会 (会長 松田俊雄)

- 4・2 県弓道場
 4月月例射会 会員35名
 4・30 県弓道場
 ㊦ 松江市弓道大会 一般・高校260名
 5・13 県弓道場
 5月月例射会 会員32名
 6・17 県弓道場
 6月月例射会 会員34名
 6・19 松江弓道場
 ㊦ 松江弓道場開き 会員60名
 7・16 松江弓道場
 7月月例射会 会員37名
 7・16~30 松江弓道場・県弓道場
 ㊦ 暑中稽古 一般 延 350名
 7・23~30 松江弓道場
 ㊦ 初心者弓道講習会 15名
 8・20 県弓道場
 8月月例射会 会員35名
 9・3 県弓道場
 ㊦ 県武道振興大会 一般・高校240名
 9・10 県弓道場
 9月月例射会 会員36名
 10・10 県弓道場
 10月月例射会 会員30名
 11・5 県弓道場
 松江市武道大会 一般・高校210名
 11・19 県弓道場
 11月月例射会 会員35名
 12・10 県弓道場
 53年納射会 会員46名

- 1・7 県弓道場
54年初射会 会員40名
- 1・14～28 松江弓道場・県弓道場
⊕ 寒稽古 一般延 370名
- 2・11 県弓道場
2月月例射会と通信射会 40名
- 3・11 県弓道場
3月月例射会 一般40名
- ◎選手を派遣した主な大会
- 4・9 大田市川合
山陰弓道大会 20名
- 5・7 出雲市
出雲市弓道大会 18名
- 7・2 大田市
支部対抗弓道大会 20名
- 9・17 米子市
両県対抗弓道大会 29名
- 10・8 広島市
中国弓道選手権大会 18名
- 10・15 大田市
大田市弓道大会 24名

松江市バスケットボール協会 (会長 須田豊三郎)

- 5・5
⊕ ミニバスケットボール教室入校式 小学生70名
- 5・6・7
⊕ 第3回松江・八東中学校バスケットボール大会 300名
(男子)優勝第一中 準優勝第4中
(女子)優勝湖南中 準優勝第4中
- 5・16～6・6
⊕ 第3回松江市職域バスケットボール春季リーグ戦 90名
優勝島根県庁 準優勝トヨタカローラ
- 9・15
⊕ 第4回松江市市民フリースロー大会並びに第3回松江市市民1対1選手権大会 100名
- フリースローの部
小学生男子 山本耕史(母衣小学校)
" 女子 引野由美子(津田小学校)
中学生男子 菊本哲也(松江1中)
" 女子 藤原敦子(湖南中)
高校女子 金森恵子(松江商業)
一般男子 鏑木 篤
" 女子 原田富美子
親 子 藤井三千勇(父) 武(子)
- 1対1選手権の部
一般男子 太田 篤(松江1中)
" 女子 古藤彰子(湖南中)

- 10・13～11・18
⊕ 第3回松江市職域バスケットボール秋季リーグ戦 105名
優勝松江市役所 準優勝島根県庁

- 10・21～22
⊕ 第8回松江市小学校バスケットボール大会 450名
(男子)Aゾーン ①古志原 ②白瀧
Bゾーン ①雑賀 ②城北

(女子)Aゾーン ①本庄 ②生馬
Bゾーン ①城北 ②内中原

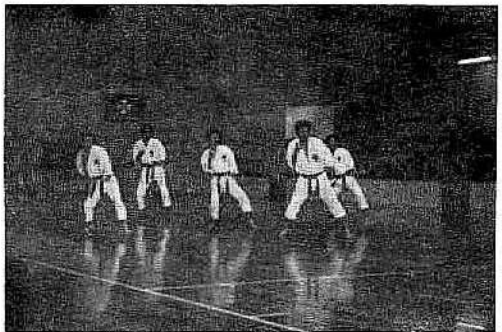
- 10・26・27
⊕ 第15回松江市中学校新人バスケットボール大会
- 12・24
⊕ 松江市中学校1年生バスケットボール大会
- 2・3～4
⊕ 松江市一般男子バスケットボール選手権大会

松江少林寺拳法協会 (理事長 中村俊雄)

- 4・9 松江中部 島大 安来 大田
⊕ 島根県合同研修会 一般80名
- 5・25 松江中部 島大
⊕ 松江市合同練習 一般50名
- 6・4 山陰地区各支部(14支部)
⊕ 山陰地区大会 年少部30名 学生110名
一般90名 計 220名
- 7・9 松江中部 安来 大田 島根医大
⊕ 島根県合同研修会 一般60名
- 9・17 松江中部 島大 島根医大
⊕ 松江少林寺拳法協会合同研修会 一般80名
- 10・17 松江中部 島大 島根医大
⊕ 松江少林寺拳法協会合同研修会 一般40名
- 11・5 島根県鳥取県協議会各支部
⊕ 鳥取県大会 年少部40名 学生60名
一般60名 計 160名
- 12・3 山陰地区各支部(14支部)
⊕ 合同研修会 100名
- 12・10 松江中部 島大 島根医大 安来 大田
⊕ 島根県大会 年少部10名 学生60名
一般40名 計 110名

(予定)

- 1・8～12 松江中部 島大 島根医大
⊕ 寒稽古 年少部5名 学生50名 一般30名
計 85名
- 2・11 松江中部 島大 島根医大
⊕ 松江少林寺拳法協会合同研修会 一般40名
- 3・4 山陰地区各支部(14支部)
⊕ 山陰地区合同研修会 一般110名



松江地区剣道連盟 (会長 浅野俊雄)

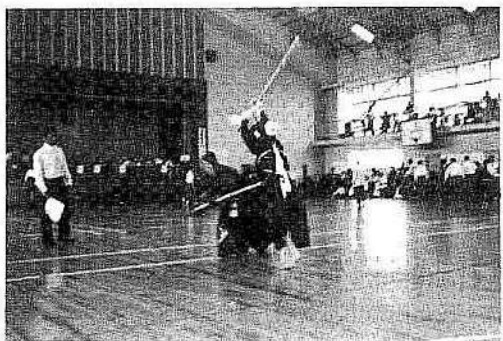
- 6・4 総合体育館
⊕ 松江地区青少年剣道大会 参加人員870名

- 6・4 総合体育館
⊕ 段・級審査会 (受験者)48名
- 6・15 武道館
⊕ 市中体連剣道大会
- 7・24～29 武道館
⊕ 暑中稽古 参加延人員300名
- 8・13 武道館
⊕ 橋南地区(級審査会) (受験者)100名
- 8・20 古志原小学校
⊕ 県青年大会
- 8・27 武道館
⊕ 橋北地区(級審査会) (受験者)150名
- 11・19 武道館
⊕ 松江市剣道大会 参加人員780名
- 12・17 武道館
⊕ 新審判法講習会・53年稽古納会 参加人員150名



- 11・15～16 総合体育館
⊕ 出雲地区中学校新人バレーボール大会
- 12・下～2・
種目別合同強化練習会 1,000名

- 54・1・8. 13 武道館
⊕ 稽古始め
- 3・4. 11 武道館
⊕ 級審査会



スポーツ指導員会

(財)日本体育協会による指導者養成事業は48年度より毎年継続事業として本県でも実施されている。養成種目は毎年3～5種目の比較的普及種目が指定されるので必ずしも各人の受講希望種目と合致しない面もあるが、共通教養必修課目もあり、本会では加盟団体に呼びかけ受講をすすめてきた。2日づつ3回計6日を受講し認定を受けるもので、本会推薦により受講し、修了した者26名、本年度受講中の者9名である。本会では、スポーツ教室、クラブ育成などに、これ等の指導者を生かしたい考えで今後も増員をはかることにしている。島根県全体では修了者は53年度を含め250名に達する見込で、県指導者連絡協議会を結成、本会和田副会長が委員長に就任、組織作りをすすめてきた。

以下、松江市関係。

松江市中学校体育連盟 (会長 繁波 清)

- 5・11 楽山庭球場
⊕ 出雲地区中学校庭球大会 120名
- 5・21 県立武道館
⊕ 出雲地区中学校柔道大会 80名
- 5・23～24 一中・附中
⊕ 出雲地区中学校サッカー大会 176名
- 6・15～16 総合体育館外
⊕ 市中学校総合体育大会9種目 910名
- 6・21 運動公園
⊕ 市中学校陸上記録会 名
- 6・27 湖南中
⊕ 市中学校水泳競技大会 129名
- 7・上～下旬 市内各学校
⊕ 県総体強化練習 1,000名
- 7・22～23 運動公園補助競技場
⊕ 県中学校総合体育大会 1,524名
- 9・19 運動公園
⊕ 市中学校陸上競技大会 370名
- 10・26～27 総合体育館外
⊕ 市中学校新人大会7種目 760名

- 岩橋 猛雄(サッカー) 木次三八郎(バスケット)
- 三代 昌男(バドミントン) 白名 高(バレー)
- 長岡 誠(軟式庭球) 黒田 敏昭(バレー)
- 陰山 幸悦(軟式庭球) 和田 正則(軟式庭球)
- 高階 等(陸上) 新宮 忠次(卓球)
- 小笠原民子(軽スポーツ) 遠藤 京子(軽スポーツ)
- 吉野 健二(サッカー) 舟木 孝義(サッカー)
- 川井 富夫(卓球) 矢野 京子(卓球)
- 三輪 省二(剣道) 中原 祥熙(弓道)
- 和田 恭明(卓球) 三島 聖(卓球)
- 樋口 速(卓球) 内田 吉明(バレー)
- 野津 紘(バレー) 曾田 興治(バレー)
- 原 成美(バレー) 杉谷 誠(バレー)
- 松浦 克司(軟式庭球) 藤原 洋子(レクリエーション)
- 野津真理子(レクリエーション) 鈴木 益彦(卓球)
- 渡部 京子(卓球) 高畑 京平(卓球)
- 吉野 雅雄(卓球) 川井 弘光(卓球)
- 門脇 孝季(卓球)

◆原稿提出が遅れて、やむなくカットの団体あり。今後期限厳守をのぞむ。

トピックス



- ◆ スポーツの普及は年とともに広がり新種目の加入、クラブの誕生など相次いでいる。53年のカヌーは体協39番目の加盟団体となった。地方軟式庭球界の今日を築いた鈴木繁徳会長の松江OBクラブは結成20周年記念の大会を4月9日楽山コートで催した。文字通り軟庭育ての親あり、いま油の乗り切った第一線プレーヤーなど多士済々、開会式で会員一同から鈴木会長に感謝の楯が贈られた。同クラブは津山：倉敷との毎年の交歓会をはじめ県内外の大会に参加、活躍を続けている。

財団法人日本体育協会の機関誌、体協時報に松江体協の活動状況を載せたいと、編輯担当の須山氏が来松、取材の内容は5月号に連載された。

幾多の国際選手をはぐくんできた松江陸上競技場のさよなら行事、スポーツ都市宣言を市へ陳情、地域体協組織づくり、特別会員募集拡大による事業資金の増大計画などが紹介されている。



- ◆ 松江体協常務理事・県・市水泳連盟理事長梶谷節夫氏に山陰中央新報社制定の地域開発賞島根県スポーツ賞が授与されることになり、4月25日本社で表彰式が行われた。氏の水泳にかける情熱は並々ならぬものがあり、島根スイミングスクールの開設等卓越した指導力を発揮、坂本等の日本代表選手を育成、52年8月日本水連からも功労章を授与されている。(山陰中央提供)

ラジオ体操は夏の風物詩でもあるが今年ラジオ体操開始50年に相当するので、その記念全国夏期巡回ラジオ体操松江会場の集いが催された。8月23日快晴の松江市総合体育館前には約2,000名の市民が集い、秋本ラジオ体操の会々長、恒松県知事、中村松江市長の挨拶の後、柳川秀磨先生の指揮、大久保三郎先生のピアノでNHKの電波を通じ全国に実況放送された。

(参加賞のワッペン)

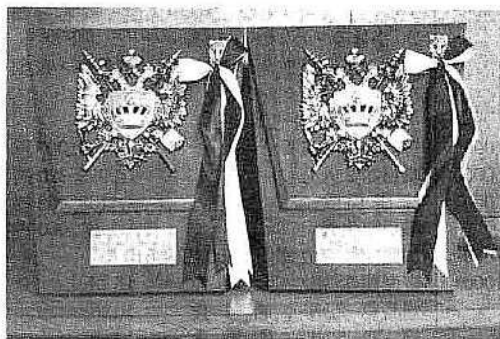
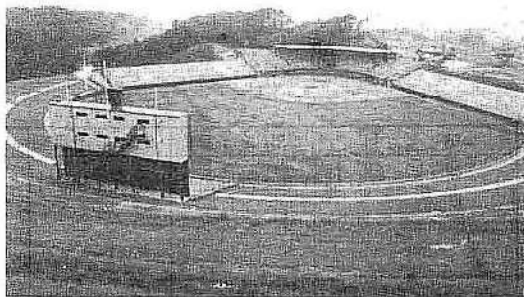




- ◆ 家庭婦人パレーボールが全国的なブームを呼んで全国大会、山陰大会、県PTA大会などが開かれるたびに松江チームの活躍が目立つ。

ママさんテニスも年々層が広がってきている。こうした中で、松江市家庭婦人卓球協会が誕生、会員約100名(会長船来 豊)折から第1回全国婦人卓球大会が東京都で開かれ、県代表となった松江市チームは7月30日代々木体育館に於て予選リーグで神奈川2-3、福島1-4と2勝0敗でベスト16チームに勝残る健闘振りを示した。

都市開発のため西川津町の運動公園の転用がきまり山陰スポーツ界に親まれてきた野球場は49年に陸上競技場は52年に姿を消してしまった。隣接の北高も赤山へ復帰した。その跡には市総合体育館が建ち、今春には県立水泳プールが完成する。一方、上乃木町の市総合運動公園は57年国体の主会場となる1種公認競技場など、目下着々工事がすすみつつあるが、サブトラックの3種競技場と野球場だけが昨年から使えるようになった。野球場は山陰一と云ってよいが駐車場が未完成。一日も早く整備をのぞむ。



- ◆ 市民体育祭第2部(陸上競技)の混成継走優勝チームには、前参議院議員・松江体協顧問・佐野広氏の優勝旗が寄贈されていたが53年から人口数による大規模・小規模に分けて競技することになったのを機会に、新しく2個の優勝権の寄贈を受けた。なお、前年までの優勝旗は3年連続優勝の榮に輝く大庭体協に永久授与された。

スポーツ都市宣言と20地域体協の結成は53年の松江市スポーツ界にとって画期的なできごとであったが、各地域体協の活動が活発に行われた中で、松南体協(会長船来 豊)では会員が平素の健康に感謝の気持を現わすため献血を行った。12月3日雑賀小学校まで血液センターから採血車の派遣をうけ、会員や町民合せて101名の血圧や血液型の検査をうけ85名が献血に応じた。

(山陰中央提供)



昭和53年度松江体育協会収支予算書

収入の部

項目	53年度予算額	52年度予算額	増 減	摘 要
1. 繰越金	430,340円	346,654円	83,686円	前年度繰越金 430,340円
2. 補助金	6,801,000	5,245,000	1,556,000	{ 事業費 4,650,000円 人件費 2,150,819円
3. 会費	1,845,000	1,465,000	380,000	加盟団体5,000円×39団体 = 195,000円 特別会員3,000円×550人 = 1,650,000円
4. 雑収入	13,660	15,000	△ 1,340	預金利子その他
合計	9,090,000	7,071,654	2,018,346	

支出の部

項目	53年度予算額	52年度予算額	増 減	摘 要
1. 加盟団体 事業補助費	3,440,000円	2,895,000円	545,000円	40 団体補助費 3,440,000円 (内訳 千円単位) 168.陸上・卓球、162.水泳、150.サッカー 138.剣道、130.スポ少、128.野球、122.バレー 116.相撲・地域体、111.バスケット・OL 105.軟庭・柔道・ヨット・弓道、99.サイクリング、 82.ローテンス・ソフト・アーチェリー 76.スキー、69.射撃、60.中体連・職域、体操 50.小体連・ハンド・教職・バドミントン・ ライフル・ボウリング・山岳・自転車・銃剣 なぎなた・ボクシング・馬術・拳法 40.カヌーその他1種目
2. 普及強化費	1,500,000	567,000	933,000	普及強化事業費 1,500,000円
3. 賃金	1,993,000	1,920,000	73,000	職員給2人分 1,992,320円
4. 保険料	159,000	154,000	5,000	健康保険 158,499円
5. 厚生費	20,000	20,000	—	職員厚生費 20,000円
6. 育成費	765,000	585,000	180,000	加盟団体育成費 1,500円×510人
7. 事務費	947,000	877,000	70,000	表彰費 35 冊 会議費 13 冊 備品費 2 冊 通信費 10 冊 旅費 5 冊 印刷費 13 冊 図書費 3 冊 消耗品費 4万5千円 雑費 8 冊 県体協加盟金 1万2千円
8. 松江陸上競技場 松江野球場 終焉記念事業費	200,000	—	200,000	松江陸上競技場・松江野球場終焉記念事業費 200,000円
9. 予備費	66,000	53,654	12,346	
合計	9,090,000	7,071,654	2,018,346	

松江体育協会昭和52年度会計決算書

収 入 の 部

項 目	52年度予算額	52年度決算額	増 減	摘 要
1. 繰越金	346,654円	346,654円	0円	前年度繰越金 346,654円
2. 補助金	5,245,000	5,251,439	6,439	事業費 3,171,000円 人件費 2,080,439円
3. 会費	1,465,000	1,615,000	150,000	加盟団体 5,000円×38団体 190,000円 特別会員 3,000円×475人 1,425,000円
4. 雑収入	15,000	26,331	11,331	預金利子その他
合 計	7,071,654	7,239,424	167,770	

支 出 の 部

項 目	52年度予算額	52年度決算額	増 減	摘 要
1. 加盟団体補助費	2,895,000円	2,855,000円	△ 40,000円	38団体補助費 2,855,000円
2. 普及強化費	567,000	442,200	△ 124,800	普及強化事業費 442,200円
3. 賃金	1,920,000	1,947,923	27,923	職員給
4. 保険料	154,000	142,321	△ 11,679	健康保険ほか
5. 厚生費	20,000	4,000	△ 16,000	職員厚生費
6. 育成費	585,000	658,500	73,500	加盟団体育成費
7. 事務費	877,000	759,140	△ 117,860	表彰費 277,950円 印刷費 124,400円 会議費 75,925円 図書費 22,200円 備品費 12,800円 消耗品費 43,680円 通信費 75,835円 雑費 78,110円 旅費 36,240円 異体協加盟費 12,000円
8. 予備費	53,654	0	△ 53,654	
合 計	7,071,654	6,809,084	△ 262,570	

次年度へ繰越金 430,340円

加盟団体事業補助費 2,855,000円の配分内訳次のとおり(単位 千円)

145 (1種目)	卓球
140 (2種目)	陸上・水泳
130 (2種目)	サッカー・スポ少
120 (1種目)	剣道
110 (1種目)	野球
105 (1種目)	バレー
100 (2種目)	相撲・地域体
95 (2種目)	バスケット・OL
90 (4種目)	軟庭・柔道・弓道・ヨット
85 (1種目)	サイクリング
70 (3種目)	ローンテニス・ソフト・アーチェリー
65 (1種目)	スキー
60 (3種目)	射撃・中体連・職場連
50 (2種目)	体操・小体連
40 (5種目)	ハンドボール・教職員・バドミントン・ライフル・ボウリング
35 (7種目)	ボクシング・山岳・自転車・銃剣道・なぎなた・馬術・少林寺

合 計 2,855,000円(38種目)

昭和52・53年度松江体育協会役員（任期2ヶ年）

（54.1.10現在）

役 職 名	氏 名																																		
会 長	中村 芳二郎																																		
副 会 長	佐藤 俊雄	曾田 堯	藤井 忠孝	松尾 巖	和田 正則																														
顧 問	恒松 制治	水津 卓夫	吉田 雄三	小立 幸雄	田部長右衛門	岡田 善富	佐藤 不二男	秋本 盛一	橋本 謙次郎	与倉 潔美	石飛 三郎	門脇 憲次郎	伊原 周造	金山 千	古満 友次郎	岸 広海	佐野 広	島田 幸光	柴田 午郎	松田 俊雄	仲佐 菊夫	大西 暁	西島 正道	細田 吉蔵	森本 正紀	吉岡 年春	渡部 熊夫	馬場 純一	又賀 清一	菅野 一					
	参 与	園山 亀蔵	浅野 俊雄	岩田 篤明	浦川 侃	遠藤 貞雄	太田 秀夫	大野 繁子	鐘築 孝男	金山 千	繁浪 清	井戸内 正	高階 等	柿田 芳夫	島田 和明	須田 豊三郎	鈴木 繁徳	大西 暁	玉木 常吉	繁浪 清	古瀬 章	福島益太郎	松田 俊雄	米田 昌平	古川重三郎	柳原 弘義	森江 文吉	吉岡 正吉	吉野 晴雄	堀 秀蔵	吉村 一夫	渡部 熊夫	野津 嘉重	角 吉郎	桑原 和義
	理 事 長	桂 隆義																																	
	常 務 理 事	織奥 信男	森 秋重	岸 広海	和田 忠義	須山 春雄	原 秀夫	福島益太郎	石井 美己	吉野 晴雄	松浦 嘉昭	梶谷 節夫	原 明弘	小玉 耕平	吉岡 弘	高尾 邦雄																			
理 事	大北 哲也	田中 信義	中島 武茂	須田 正夫	狩野 信	岩山 励	幸野 孝治	野津佳都美	松田 健嗣	井上 正	和久利 勇	渡部 咲子	角田 誠	福田 邦雄	玉木 常吉	園山 哲也	楨戸 航	山本 謙	尾原 徳光	岩崎 英人	大前 福徳	藤原 善夫	早栗 清	二上 範夫	岸 一郎	鎌田長一郎									
	監 事 局 長	吉野 安久 松尾 司																																	
監 事 局 長	永江 健悦																																		

種 目 別 部 員

役 職 名	氏 名																															
陸 上 競 技	須山 春雄	青戸 純夫	足立 淑世	伊藤 操	大塚 昭治	梶谷 和正	勝部 行正	金坂 嘉則	熊谷 琢朗	久保田 康毅	小西 益之	秦 重夫	佐原 亘	種平 博行	内藤 喜一	長野 征三	福田 正義	松本 正	山田 潔	吉野 安久	塩川屋 三郎	平垣 貞徳	斉藤 重徳									
	卓 球	岸 明弘	藤原 武治	玉木 敏夫	和田 恭明	坂田 年	久保川 喬之	水 泳	梶谷 節夫	規家 文雄	野島 格己	佐藤 幸一	門脇 節朗	渡部 憲生	須山 治彦	吉岡 達士	石田 良	長岡 重義	剣 道	田中 信義	岡田 安夫	青戸 常磐	倉石 惟男	安部 修次	入沢 和一	岡村 稔	井後 豊	種村 敏雄	村上 茂	大國 章夫	加藤 富章	
	軟 式 野 球	福島益太郎	泰 勝郎	尾原 徳光	野津 正連	岸 正巧	渡部 幸利	樋口 速	小山 益男	上野 克次	万波 伸男	松尾 三	勝田 彰	バ ス ケ ッ ト	須田 豊三郎	岩崎 英人	坂本 和正	米原 範倍	石原 辰三	吉迫 哲哉	木次三郎	高木 俊行	沢田 毅	石倉 達夫	高見 和夫	陶山 広之	森脇 善男	大石 益男	忌部 幹夫	久保田 稔	大内 紀雄	大和 正
	サ ッ カ ー	松浦 嘉昭	安部 隆	忌部 幹夫	久保田 稔																											
バ レ ー ボ ー ル	吉野 晴雄	諏訪部 芳美	福井 勝美	中倉 利治																												
相 撲	野津佳都美	木村 勇	成相 重夫	平塚 繁義	若林 泰男	藤原 正	古藤 正三	小山 榮	金津 光宣	田村 一郎	石橋 武雄																					

役 職 名	氏 名							
オリエンテーリング	玉木 常吉 井上 直子	桜内 保幹 赤名 健司	新宮 忠次 狩野 信	黒崎 行雄	余村 信義	大田 清一		
軟 式 庭 球	中島 武茂 岸本 和枝	多久和智康	松村 光洋	田中 米蔵	松浦 定男	植木 章		
柔 道	高尾 邦雄 福田 厚	田中 義祐 門脇 常雄	松本 昭 藤岡 正春	岩見 裕至	細田 覚郎	長谷川正矩		
弓 道	和久利 勇 小村 達郎	田中 勇 中原 祥熙	渡利 洋一 木次 節郎	長瀬 保徳 金織 博	米原 康雄 松井 修二	作野 茂		
ヨ ッ ト	幸野 孝治 竹田 富	菊地 良兵衛 金平 憲	長谷川 宏 山本 寿子	山本 英二 足立 将	一氏 俊夫 沢 洋征	木村 光雄 梅木 昭一		
ソ フ ト ボ ー ル	矢野 時夫 門脇 正彦	新宮 忠治 長谷川伊平	作野 茂 内田 盛信	祖田 彰 今林 昭美	今林 治 今岡 勇	細田 朝通		
バ ド ミ ニ ョ ン	大北 哲也	高麗 久義	野津 好文	三原 久雄	松尾 益吉	樋野 明義		
ア ー チェ リ ー	松田 健嗣 永瀬 勝正	後山 尚一	宮廻 利徳	山田 幹雄	三木 基弘	森桜 裕司		
サ イ ク リ ン グ	狩野 信 来海 昭夫	伊藤 薫 踏江 資礼	岸本 武男 入井 寅雄	大久保春弥 石倉 邦夫	福井 邦憲	長谷川伊平		
ロ ー ン テ ニ ス	鎌田長一郎 金山 義直	岩橋 猛雄 大石 章夫	中島 隆司	竹田 修一	松本 淳	三島 善吉		
中 学 校 体 育 連 盟	石井 美己 福田 保夫	林 惺志 勝部 行正	平江 浩子 平江 一郎	石原 房美	坂本 潔	川西 純次		
体 操 連 盟	岡山 哲也 岡坂 晴朗	柳原 弘義 園山 哲也	松本 敏雄 橋本 泰三	妹尾アサ子 門脇 英雄	永井 康隆 中村 保夫	渡辺 悦男 今岡 一真		
小 学 校 体 育 連 盟	福田 邦雄 星野 淳	高橋 邦好 安部 輝洋	小林 毅	門脇 節朗	忌部 幹夫	高木 俊行		
ハ ン ド ボ ー ル	糸川 薫 長森 利明	福島 栄一 石倉 秀人	小林 憲一 渡部 新治	松浦志津彦 村上 光弘	松陰 実 奥谷 明郎	高木 守 岩田 洋子		
射 撃	大前 福德 佐藤 喬	岡本 稔	裏辻 雅啓	池上 成則	安達 正幸	佐藤 末寿		
ラ イ フ ル	岩山 励 井原 福雄	松林 利光 成瀬 昇	門脇 博光	田原 勉	石河 重馬	三代 要		
山 岳	横戸 航 内田 博文	藤田 真一 米倉 得雄	岡本 文雄 村田 行彦	小村 修治	福村 年晃	森脇 基之		
自 転 車 競 技	須田 正夫	長尾 憲道	松林 正	渡辺 俊美	佐藤 修一	加納 武男		
ボ ク シ ン グ	高階 等 石津 克己	美多 泰道 中村 豊	松浦 勇次	広戸 昭一	岩成 卓	柳原 博		
な ぎ な た	渡部 咲子	大野 繁子	後藤登美子	恒松 幹子	平江 浩子	藤井 隆義		
ボ ウ リ ン グ	藤原 善夫	宮木 一光	大沢 亮三	加藤 順一	土江 博行			
乗 馬	早栗 清	加藤 正信	神庭 嘉孝	石塚 皓敏	永瀬 一郎	三谷 彰		
少 林 寺	中村 俊雄 守本 達夫	岸 一郎	細田 初	村上 仁男	堺 淳	遠藤 正利		
カ ス	二上 又賀 範夫 航一	藤田 文 二上 房則	野津 辰己	入江 保雄	新宮 正朗	河野 功行		
地 域 体 育 連 盟	岸 広海 福井 明 小林 敏徳 神田 繁吉	杉村 和雄 金野 達雄 樋原 久 佐藤 幸一	角 吉郎 久保田 宏 細田 重雄	原 秀夫 福田 正義 野津佐千穂	糸川 彰 野津 茂登 小谷 豊	吉岡 正吉 中島 武夫 黒沢 和夫		

昭和53年度松江体育協会特別会員

(53.12 現在)

取扱い団体	口数	特 別 会 員 氏 名																																					
市 議 会 議 員	3 6	小立 幸雄	福島益太郎	梶谷 富彦	門脇 光男	富永 利典	田中 正三	小山 昭	原 豊	高木 早苗	広江 敏郎	角 吉郎	狩野 文男	伊藤 喜造	片寄 治夫	野津 嘉重	蔭山 徳行	加藤 暁	岩成 潔	岩田 篤明	森江 文吉	村松益次郎	小山 永久	岸 広海	松浦 巖	与倉 正三	須田豊三郎	野波 好吉	前田 燕吉	井戸内 正	古藤 正福	佐々木種蔵	吉岡 正吉	佐川 喜慶	黒田成一郎	船来 豊	船友太郎	金山 千	曾田 堯
		佐野 広	与倉 潔美	秋本 盛一	船江友太郎	金山 千	伊藤 堯	和田 忠義	桂 隆義	吉野 安久	福田 正義	平垣 貞徳	曾田 堯	塩川屋三郎	森広大三郎	兼折 博	佐藤 勝亮	本田 一忠	内藤 喜一	松浦 善次	荒木八洲雄	竹田 操夫	細田 保	三好 邦雄															
		鐘築 孝男③	大野 俊夫②	星野 広②	船来 豊	佐川 喜慶	竹谷 六郎	門脇 壽功	梶 仁敏	織典 信男	大沢 亮二	加藤 正也	三島 堅	好川 豊	藤田 佳心	小幡 光雄	マルトミ②	マルフク②	玉木カメラ	奥田 商事	ワダ卓球専門店																		
		浦川 侃②	松尾 衛尚②	藤原 善夫②	村上 義郎②	宅和 定義	塩田 恭一	林 直衛	堀江 邦男	入沢 和一	中林 正	森脇 厚志	土井 幹夫	内久保武志	山名 哲夫	綾部 隆文	高階 等																						
		門脇 桂	吉岡 年春	島田 和明	鎌田長一郎	糸原 次之	庄子 肇	岩崎 猛雄	中島 隆司	三島 善吉	鬼頭 宏一	青木 博	田部 安德	竹田 淑子																									
弓 道	1 6	作野 茂	石飛 博之	石倉 茂徳	藤井 俊矣	古橋 茂明	松田 行正	松田 俊雄	和久利 勇	中原 祥熙	渡利 洋一	石橋 一夫	木次 節郎	児玉 克正	金織 博	熊野 文三	小村 達郎																						
		忌部 幹夫	山崎 滋	勝部 清	安部 隆	久保田 稔	横山 康二	間田 浩彬	八東 義夫	大内 紀雄	大塚 宗	岩成 潔	曾田 義治	鶴飼 政克	遠藤 貞雄	和田 忠義	小玉 耕平	松浦 巖	松浦 善昭	大和 正一	森脇 善男	森山 俊男	福田 茂	園山 寿夫	吉岡 秀登														
ヨ ッ ト	1 6	浅野 俊雄	山本厚太郎	菊地 経子	梅木 松子	牛見 修三	大森 秀夫	木村 敏子	山本美奈子	長谷川由紀子	永瀬 奈子	月森 学	松田 行正	森本 紀彦	西川 正博	高木 弘宣	大谷 公夫																						
		玉木 常吉⑥	三上 哲久																																				
山 岳	8	柿田 芳夫	岡村 一郎	村田 行彦	岡本 文雄	楨戸 統	藤田 真一	内田 博文	福村 年晃																														
軟 庭	1 6	鈴木 繁徳④	森脇文一郎④	中島 武茂②	植木 章②	松浦 定男②	細木 博②	森江 文吉	江沢 紀彦	永見 善次	野津 一郎	佐々布都好	糸川 薫	福島 栄一	角田 誠																								
小 体 連	6	大西 暁	三島 義正	梶野 年明	山崎 忠志	米田 義男	沢野 智夫	繁浪 清	坂本 潔	石井 美己	川西 純次	稲田 保夫	勝部 行正	平江 一郎	林 愷志																								
ス キ ー	1 2	古瀬 章②	泉 彬	山木 謙	佐草 幹夫	柿田 芳雄	三島 行雄	清水 愿二	荒木 英昭	石川 博	山代 修	渡部 紀美		春日 正光	今林 治	陶山 広之	坂本 和正	高見 和夫	米原 範倍	吉岡 正夫	吉迫 哲哉	岩崎 英人	木次三八郎	石原 辰三	高木 俊行	吉岡 伊藤	伊藤 律夫	足立 安弘											
		浅野 俊雄	大西 友治	大賀美英利	塩田 恭一	古瀬 乘	神竹 礼士	青戸 常磐	福田 明正	田中 信義	岡田 安夫	倉石 惟男	村上 茂	宍道 平吉	種村 敏雄	加藤 富章	小豆沢 盾	安部 修次	安本 照考	川津 啓義	岡 武男	木村 昭博																	
銃 剣 道	8	福井 繁一	堀 秀蔵	為石 重雄	井後 豊	吉野 信男	葉山 真	村松 功	佐々木利夫																														

取扱い団体	口数	特 別 会 員 氏 名									
少 林 寺	8	野津 智米 己之口 武 遠藤 正利 岸 一郎 村上 仁男 永野 昭雄 祐源 修輔 石橋 洋一									
馬 術	6	野津 嘉重 早栗 清 加藤 正信 神庭 嘉孝 石塚 皓敏 永瀬 一郎 野津佐千徳 三島 敏暢 大塚 昭治 神田 繁吉 飯庭 芳明 石原 芳夫 野津 茂登 仙田 勘兵衛 角 吉郎 野津 隆 岸 広海 杉村 和雄 原 秀夫 糸川 彰 吉岡 正吉 福井 明 金野 達夫 久保田 宏 福田 正義 中島 武夫 小林 敏徳 樋原 久 細田 重雄 小谷 豊 黒沢 和夫 佐藤 幸一									
地 域 体	26										
野 球	20	福島益太郎 尾原 徳光 秦 勝郎 野津 正連 岸 正紀 小山 益男 樋口 速 上野 克次 万波 伸男 渡部 幸利 松崎 啓治 宅和 定雄 野津 三郎 中田 慶治 木下 登 勝田 彰 松尾 巧 山尾 守 大津 二男 菅井智久志									
ボクシング	8	岸 広海② 高階 等② 乾 薫② 高木 茂②									
自 転 車	8	島根県自転車軽自動車商協同組合松江支部③									
な ぎ な た	8	大野 繁子 渡部 咲子 後藤登美子 恒松 幹子 平江 浩子 藤井 隆義 渡部 淳子 林 敬子									
ボウリング	8	金織 民憲 岡 武雄 比良 幸男 松尾 潤 藤原 善夫 玉城 雅司 梶野 治行 米田 弘									
水 泳	25	伊原 周造④ 梶谷 節夫 長岡 重義 佐藤 幸一 渡部 憲生 田中 直邦 松村 正造 石橋 道夫 野津 良吉 野々村節雄 小島 勇 幡磨 秀樹 荒木 芳明 妹尾 永司② 太田羊次郎 三尾 英治 藤原 弘之 岡坂 晴朗 野口 雅庸 二 協 社②									

計 413口

編 集 後 記

恒例の体協新年賀会で会報を配布するのは8回目になる。

願れば昨年は、体協55年の歴史の上でも特筆すべき年だったと思うものである。

年来の努力が総り全市20地域に体協の結成をみ、念願していたスポーツ都市宣言が日の目を見た事。これからは松江市の将来に必ずや大きな力となることを信じたい。

さて7月には愈々、島根国体開催が中央機関により決定されることになる。

夏季・秋季大会の開閉会式と6種目の競技運営を受持つ県都松江市の準備、どのようにすすめられていくのだろうか。われわれ体協としても責任が一段と重さを増してくることを感ぜざるをえない。

市民総スポーツの推進、国体への取組みに対し、体協組織をあげて、えい智を結集、アイデアに富んだ施策をあみ出し、勇気をもって実行にあたりたい。

(54.1.3編集を終るにあたり 事務局 和田)

賀 正 松 江 体 育 協 会

会 長	中 村 芳二郎	(市役所(市長))	24 - 1111
副 会 長	佐 藤 俊 雄	(市役所(開発公社理事長))	24 - 1111
同 長	藤 井 孝 忠	(松江土建(株)(社長))	21 - 3521
同 長	松 尾 巖	(生馬公民館(館長))	36 - 8460
同 長	會 田 堯	(市民交通災害共済(局長))	21 - 4186
同 長	和 田 正 則	(体協事務局専従)	24 - 7227
理 事 長	桂 隆 義	(島根信販(株)(常務))	21 - 2140
事 務 局 長	永 江 健 悦	(市教委体育課(課長))	24 - 1111
事 務 局	松江市末次町 86 松江市教育委員会体育課内		24 - 1111 (332) 321
			24 - 7227 (直通)

「くにびき国体」競技会場予定地配置図 (国体事務局より)

